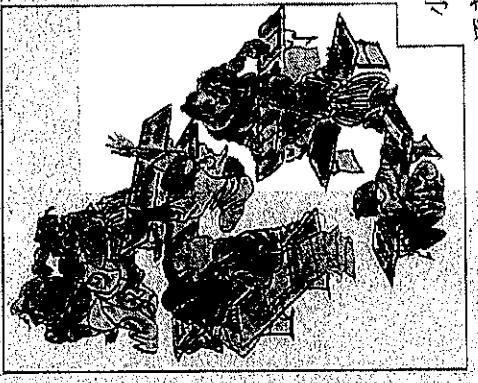
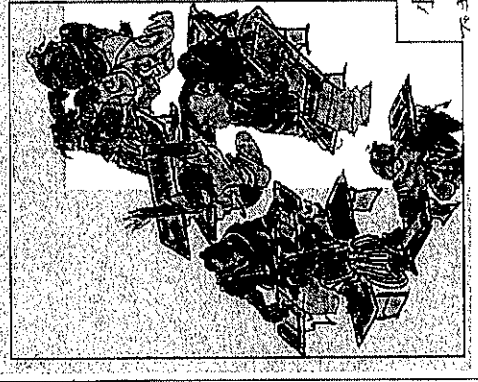


番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
1	III	図⑤ キャプション	<p>▲日村をあげて行われる室町時代の田圃え→P95「室町時代の村」(国立国会図書館 東京国立博物館蔵)</p>	<p>▲日村をあげて行われる室町時代の田圃え→P95「室町時代の村」(国立国会図書館 東京国立博物館蔵)</p>	変更が適切な体裁、記載(所蔵先等の情報を追加するため)
2	III	食 キャプション	<p>私たちがふだん食べているおすしは、</p>	<p>私たちがふだん食べているすしは、</p>	変更が適切な体裁、記載(より適切な表記にするため)
3	III	図⑩ キャプション	<p>(木曾街道六拾九次岐阻街道奈良井宿名産店之図 東京都 国立国会図書館蔵)</p>	<p>(木曾街道六拾九次岐阻街道奈良井宿名産店之図 東京都 国立国会図書館蔵)</p>	変更が適切な体裁、記載(より正確な表記にするため)
4	IV	左上写真			変更が適切な体裁、記載(より適切な表記にするため)

訂正箇所
ページ
IV

右下写真

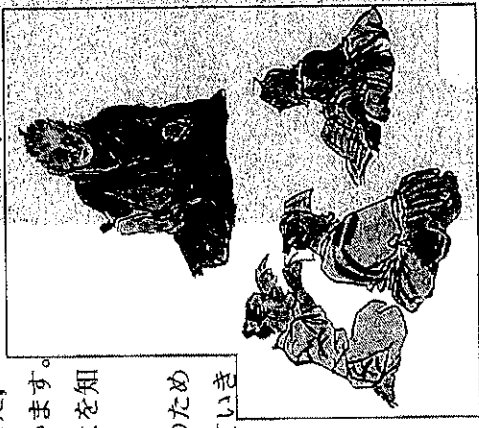
みん、

います。

いとを知

のため

ていき



原文

訂正文

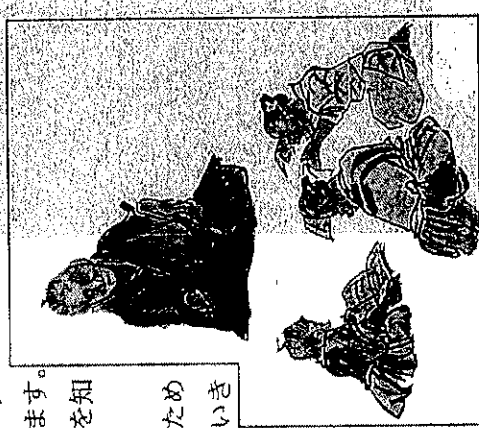
みん、

います。

いとを知

のため

ていき



外国の表
記のしか
た

3

560

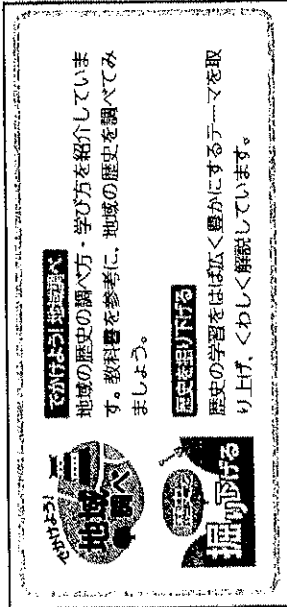


外国の表記のしかた 近代になると、歴史上の事件や条約名に、漢字の国名や大略名が使われることがあります。

歴史を掘り下げる 歴史の学習をはば広く豊かにするテーマを取り上げ、くわしく解説しています。

- 蘭(和蘭・阿蘭陀) = オランダ
- 英(英吉利) = イギリス
- 米(米(國)利加) = アメリカ
- 伊(伊太利) = イタリア
- 露(露西亜) = ロシア
- 独(独逸) = ドイツ
- 仏(仏蘭西) = フランス
- 欧(歐羅巴) = ヨーロッパ

6



外国の表記のしかた 近代になると、歴史上の事件や条約名に、漢字の国名や大略名が使われることがあります。

歴史を掘り下げる 歴史の学習をはば広く豊かにするテーマを取り上げ、くわしく解説しています。

- 蘭(和蘭・阿蘭陀) = オランダ
- 英(英吉利) = イギリス
- 米(米(國)利加) = アメリカ
- 伊(伊太利) = イタリア
- 露(露西亜) = ロシア
- 独(独逸) = ドイツ
- 仏(仏蘭西) = フランス
- 欧(歐羅巴) = ヨーロッパ

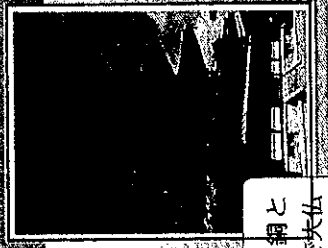
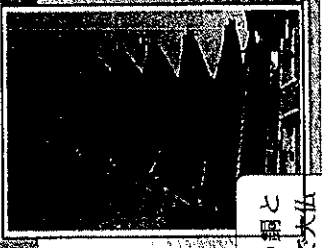
6

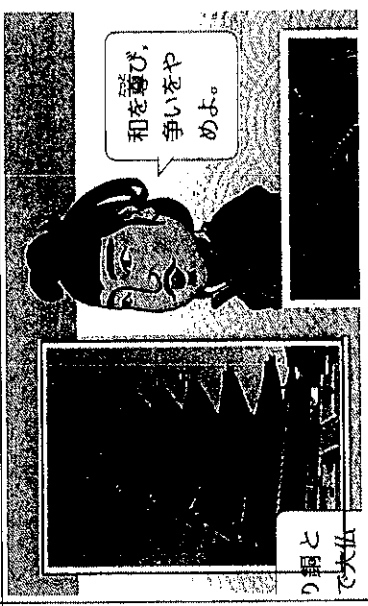
560

訂正理由
変更が適切な体裁、記載(より適切な体裁にするため)

変更が適切な体裁、記載(P. 224年表中の表記の説明に必要なため)

変更が適切な体裁、記載(箇所番号6の訂正に伴い、レイアウトを調整するため)

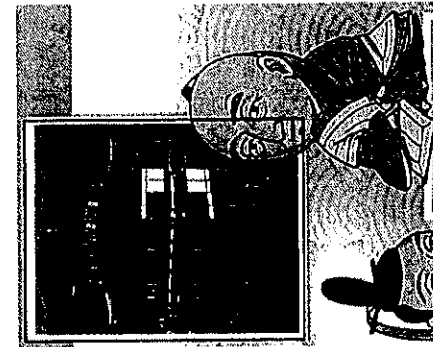
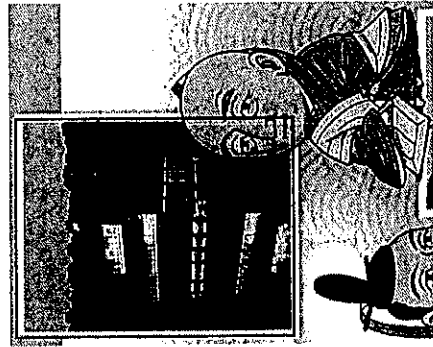
番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
7	4	本文ページの使い方	(別紙1)	(別紙1)	変更が適切な体裁、記載（検定意見対応後の紙面に差し替えるため）
8	4	本文ページの使い方	<div data-bbox="459 1702 667 1926" data-label="Text"> <p>国 重要文化財のうち、国宝に指定されている文化財に付けています。 世 世界遺産 エネスコの世界遺産リストに登録されている文化遺産に付けました。</p> </div>	<div data-bbox="459 869 667 1093" data-label="Text"> <p>国 重要文化財のうち、国宝に指定されている文化財に付けています。 世 世界遺産 エネスコの世界遺産リストに登録されている文化遺産に付けています。</p> </div>	変更が適切な体裁、記載（国宝の表記と統一するため）
9	5	アクティビティ	第5編第2章「戦争」に着目して、近代（後半）の時代の特色にせまるう	第5編第2章「戦争」に着目して、近代（後半）の特色にせまるう	変更が適切な体裁、記載（P.259の表記と統一するため）
10	6	右上写真	 <p>綱と大仏</p>	 <p>綱と大仏</p>	変更が適切な体裁、記載（より適切な写真に差し替えるため）



訂正文

原文

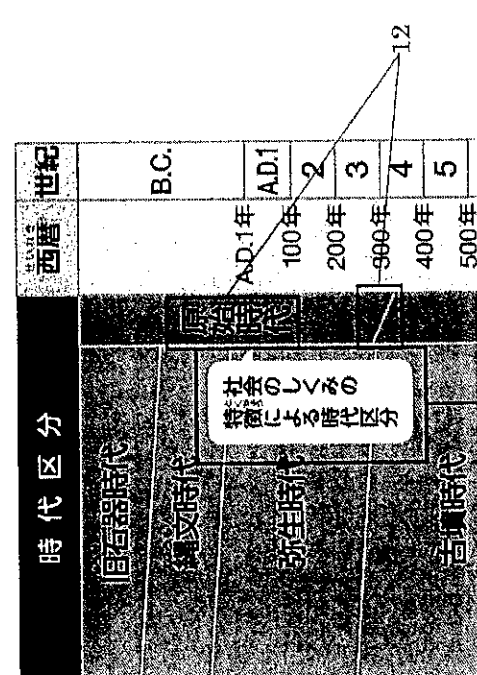
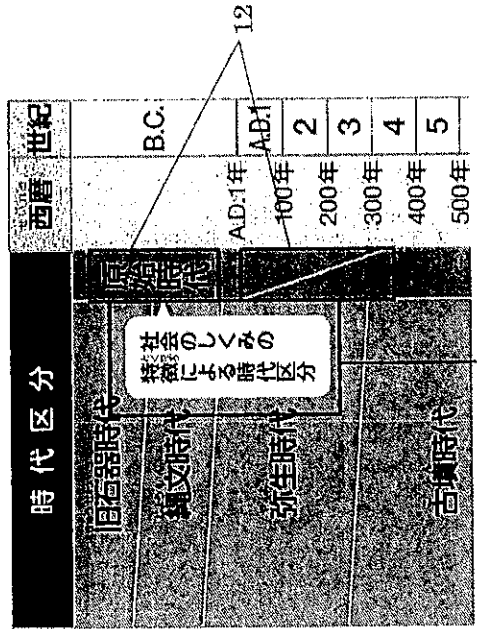
訂正箇所
ページ
7



訂正理由
変更が適切な体裁、記載（より適切な写真に差し替えるため）

変更が適切な体裁、記載（巻末折込年表※1の記載と統一するため）

変更が適切な体裁、記載（箇所番号12の修正に伴い、吹き出しをより正確な位置にするため）



11 時代区分の表

12

13

13

13

訂正箇所
ページ 12

年表

原文

時代	年	できごと
平安	1147	源頼朝が生まれる
	1156	保元の乱が起こる
	1159	平治の乱が起こる
	1180	敗れた頼朝が伊豆(静岡県)に流される 平氏をたおそうと兵をあげ、全国的な内乱が始まる
	1185	源氏が壇ノ浦の戦いで平氏をほろぼす
鎌倉	1192	頼朝が征夷大将軍に任じられる
	1199	頼朝が亡くなる

14

15

訂正文

時代	年	できごと
平安	1147	源頼朝が生まれる
	1156	保元の乱が起こる
	1159	平治の乱が起こる
	1180	敗れた頼朝が伊豆(静岡県)に流される 平氏をたおそうと源氏が兵をあげ、全国的な内乱が始まる
	1185	源氏が壇ノ浦の戦いで平氏をほろぼす
鎌倉	1192	頼朝が征夷大将軍に任じられる
	1199	頼朝が亡くなる

14

15

訂正理由

変更が適切な体裁、記載(より適切な表記にするため)

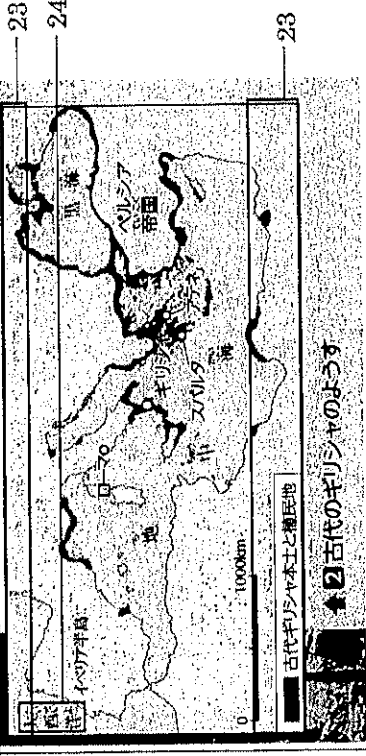
変更が適切な体裁、記載(箇所番号14の訂正に伴い、振り仮名を初出に付すため)

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
16	16	地図	(別紙2)	(別紙2)	変更が適切な体裁、記載（より正確な表記にするため） /
17	16	リード文	約1000万年前ごろから始まった地形や気候の変動	約1000万年前_から始まった地形や気候の変動	変更が適切な体裁、記載（より正確な表記にするため） /
18	16	年表	(別紙3)	(別紙3)	変更が適切な体裁、記載（より正確な表記にするため） /
19					変更が適切な体裁、記載（箇所番号18の訂正に伴い、五代の表記の仕方と年表中のできごとの表示場所を変更するため） /
20	20	11行目	文明とよんでいます。	文明とよんでいます。	変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）

訂正箇所		訂正文	訂正理由
ページ	行		
21	22	兵馬備壙と(左)と兵馬備(右)	誤記等
22	23	兵馬備壙と(左)と兵馬備(右)	変更が適切な体裁、記載(見開きの内容と対応させるため)
23	24	図②	変更が適切な体裁、記載(エジプトの古代ギリシャの植民地を示すため)
24	24	図②	変更が適切な体裁、記載(箇所番号23の訂正に伴い、海洋名を地図内に示すため)
25	24	11行目	変更が適切な体裁、記載(P.24の基本用語の表記と統一するため)

訂正文

兵馬備壙と(左)と兵馬備(右)


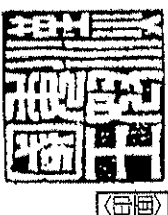


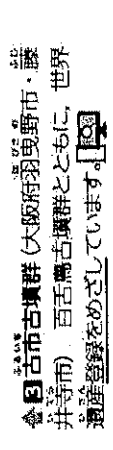
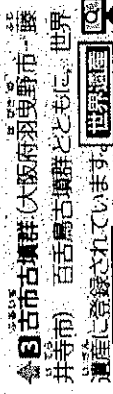


そのような都市国家のなかで、紀元前6世紀の末に民主政治を確立し、

そのような都市国家のなかで、紀元前6世紀の末に民主政治を確立し、

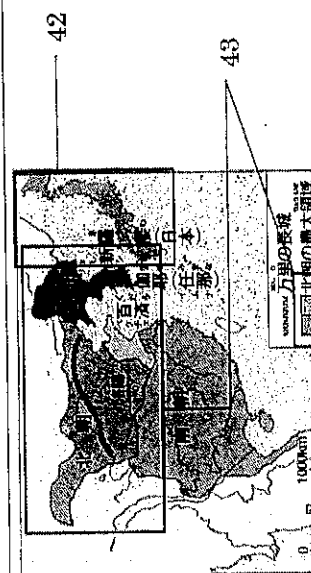
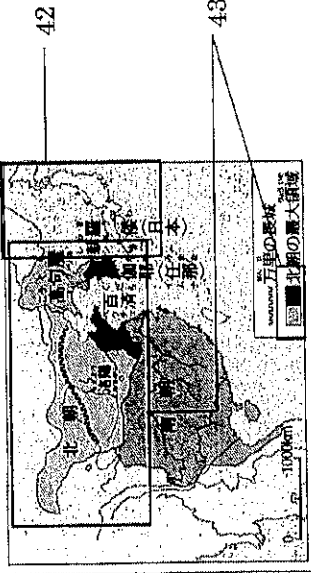
そのような都市国家のなかで、紀元前6世紀の末に民主政治を確立し、

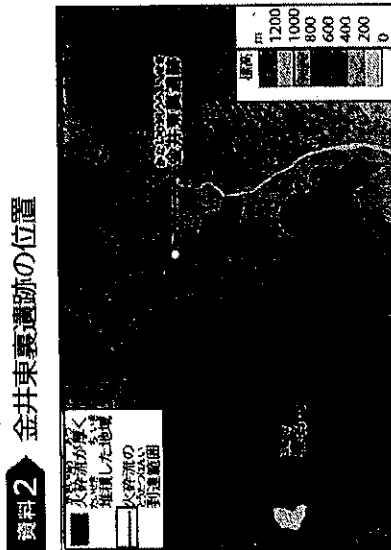
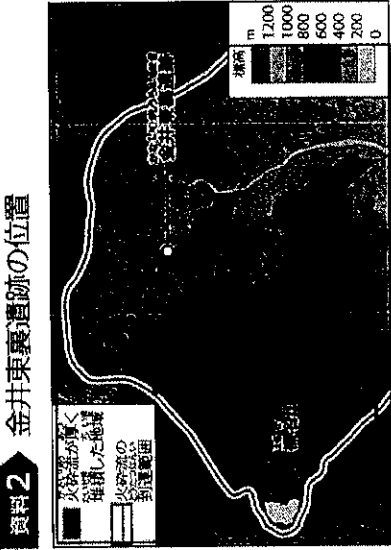

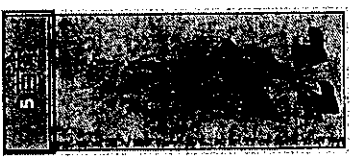
番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由												
	ページ	行															
26	24	表③	<table border="1"> <tr> <td>紀元前6世紀後半</td> <td>できごと</td> </tr> <tr> <td>紀元前600世紀末</td> <td>地中海東部に都市国家が成立</td> </tr> <tr> <td>紀元前334</td> <td>アレキサンダー大王による東方遠征(～前324)</td> </tr> <tr> <td>紀元前2世紀中ごろ</td> <td>共和政のもとで、ローマが地中海に勢力を拡大する</td> </tr> </table>	紀元前6世紀後半	できごと	紀元前600世紀末	地中海東部に都市国家が成立	紀元前334	アレキサンダー大王による東方遠征(～前324)	紀元前2世紀中ごろ	共和政のもとで、ローマが地中海に勢力を拡大する	削除	変更が適切な体裁、記載(P.24の基本用語の表記と統一するため)				
紀元前6世紀後半	できごと																
紀元前600世紀末	地中海東部に都市国家が成立																
紀元前334	アレキサンダー大王による東方遠征(～前324)																
紀元前2世紀中ごろ	共和政のもとで、ローマが地中海に勢力を拡大する																
27	25	インデックス	<table border="1"> <tr> <td>時代</td> <td>目録</td> <td>索引</td> <td>巻末</td> </tr> <tr> <td>世紀</td> <td>AD</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>3</td> <td></td> </tr> </table>	時代	目録	索引	巻末	世紀	AD	1	2			3			変更が適切な体裁、記載(見開きの内容と対応させるため)
時代	目録	索引	巻末														
世紀	AD	1	2														
		3															
28	25	図⑦			変更が適切な体裁、記載(ローマ帝国の領域をより正確に表記するため)												
29	29				変更が適切な体裁、記載(箇所番号28の訂正に伴い、凡例をより適切な表記にするため)												
30	28	8行目	大型の動物が日本列島にも渡ってきていました。	大型の動物が日本列島にもわたってきていました。	変更が適切な体裁、記載(本文4～5行目の表記と統一するため)												



番号	訂正箇所 ページ	原文	訂正文	訂正理由
31	16行目	り、金印や銅鏡などをもらいました。また、王から奴隷までの身分	り、金印や銅鏡などをもらいました。また、王から奴隷までの身分 P.37	変更が適切な体裁、記載（参照頁を追加すため）
32	図⑦	 <p>会 漢委奴國(國)王 という文字がほられた 金印(美物大) (一辺約 2.3cm 福岡市博物館蔵) 江戸時代に志賀島(福岡市)で発見されました。 国</p>	 <p>会 漢委奴國(國)王 という文字がほられた 金印(印面は美物大) (一 辺約2.3cm 福岡市博物館蔵) 江戸時代に志賀島(福岡市)で発見されました。 国</p>	変更が適切な体裁、記載（より正確な表記にするため）
33	図① キャプション	 <p>天仙(仁徳陵) 古墳(大阪府堺市) 百舌鳥古墳群のひとつで、日本最大の古墳です。 世界遺産</p>	 <p>天仙(仁徳陵) 古墳(大阪府堺市) 百舌鳥古墳群のひとつで、日本最大の古墳です。 世界遺産</p>	更新が適切な事実の記載
34	図③ キャプション	 <p>古市古墳群(大阪府羽曳野市・藤井寺市) 百舌鳥古墳群とともに、世界遺産に登録されています。 世界遺産</p>	 <p>古市古墳群(大阪府羽曳野市・藤井寺市) 百舌鳥古墳群とともに、世界遺産に登録されています。 世界遺産</p>	更新が適切な事実の記載

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
35	32	図⑤			変更が適切な体裁、記載(資料)を読み取りやすくするため
36	32	図⑤ キャプション	<p>⑤鉄刀 (左: 熊本県江田船山古墳出土、東京国立博物館蔵) 国宝</p>	<p>⑤鉄刀 (左: 熊本県江田船山古墳出土〈部分〉、東京国立博物館蔵) 国宝</p>	変更が適切な体裁、記載(資料)の掲載範囲をより適切に表記するため
37	32	側注①	<p>①熊高山古墳から出土した鉄剣には、この地方の粟加多支歯大王に役人としてつかえたことが書かれています。</p>	<p>①埼玉県や熊本県の古墳から出土した刀剣には、大和にいたった獲加多支歯大王の名前が記されています。</p>	変更が適切な体裁、記載(より適切な表記にするため)
38	32	側注②	<p>大阪湾近くからは、</p>	<p>大阪湾を見下ろす上町台地(大阪市)では、</p>	変更が適切な体裁、記載(より適切な表記にするため)
39	32	表⑥ ネーム	<p>3世紀後半～5世紀までの日本の動き</p>	<p>3世紀後半～5世紀の日本の動き</p>	変更が適切な体裁、記載(P.38表③)のネームの表記の仕方と統一するため

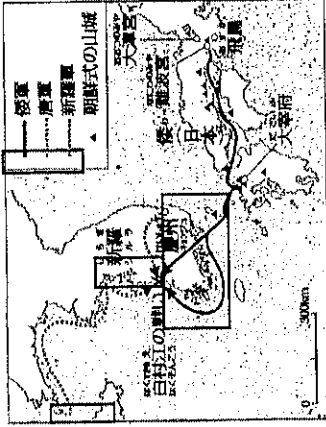
番号	訂正箇所		訂正文	訂正理由
	ページ	行		
40	32	表⑥	413 倭王, 中国に使いを送る	変更が適切な体裁、記載(より正確な表記にするため) ✓
41	33	11行目	政治的な力を認められました。	変更が適切な体裁、記載(参照頁を追加するため) ✓
42	33	図⑩	42	変更が適切な体裁、記載(より適切な表記にするため) ✓
43	33		43	変更が適切な体裁、記載(CIDの観点から読み取りやすい配色に変更するため) ✓
44	33	脚注③	③王の名は諱・珍・芳・興・武で、稻荷山古墳出土の鉄剣と江田船山古墳出土の鉄剣に記載された「應加多支鹵大王」は、武をさすと考えられています。	変更が適切な体裁、記載(P.32の側注①の表記と統一するため) ✓

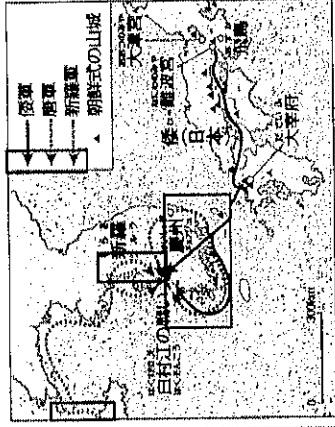


番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
45	34	資料2	<p>資料2 金井東裏遺跡の位置</p> 	<p>資料2 金井東裏遺跡の位置</p> 	変更が適切な体裁、記載 (CUD) の観点から読み取りやすい配色に変更するため
46	37	リード文	(別紙4)	(別紙4)	変更が適切な体裁、記載 (P.51) の「歴史を掘り下げる」などと書体を統一するため
47	37	図①			変更が適切な体裁、記載 (P.33) の表記などを統一するため
48	37	左段6行目	に面会し、それぞれの地方の産物をたてまつる儀礼で	に面会し、それぞれの地方の産物を献上する儀礼で	変更が適切な体裁、記載 (より適切な表記にするため)

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文	歴史709	訂 正 理 由
	ページ	行				
49	38	図①	 <p>49 50</p>	 <p>49 50</p>	歴史709	変更が適切な体裁、記載（振仮名の表記をP.244図①と統一するため）
50						変更が適切な体裁、記載（日本の着色範囲をより適切な表記にするため）
51	38	表③	<p>562 伽耶が新羅にほろぼされる</p>	<p>562 伽耶の国々が新羅にほろぼされる</p>		変更が適切な体裁、記載（P.39本文14～15行目の表記と統一するため）
52	38	表③	<p>618 隋がほろび、唐が中国を統一する</p>	<p>618 隋がほろび、唐がおこる</p>		変更が適切な体裁、記載（巻末年表※2の表記と統一するため）
53	39	4～5行目	<p>さらにヨーロッパとの貿易が盛んになりました。都の長安（今の西安）は、世界の各地から外交使節や貿易商人が集まり、100万ほどの</p>	<p>さらにヨーロッパとの貿易が盛んになりました。都の長安（今の西安）は、世界の各地から外交使節や貿易商人が集まり、100万ほどの</p>		変更が適切な体裁、記載（振仮名の表記をP.244図①と統一するため）

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
54	39	地域に学ぶ 8～9行 目	ヤマト王権は1年あまりかかって反乱をおさえ、	ヤマト王権は1年半ほどかけて反乱をおさえ、	変更が適切な体裁、記載（より正確な表記にするため）
55	40	16行目	隋がほろびて唐がおおると、	隋がほろんで唐がおおると、	変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）
56	40	側注①	①女性の天皇を女帝といます。推古天皇のあと、飛鳥時代から奈良時代にかけて、多くの女帝が誕生しました。	①推古天皇は最初の女性の天皇です。飛鳥時代から奈良時代にかけて、多くの女性の天皇が誕生しました。	変更が適切な体裁、記載（文意を明確にするため）
57	41	表⑤	618 隋がほろび、唐が中国を統一する	618 隋がほろび、唐がおおる	変更が適切な体裁、記載（巻末年表※2の表記と統一するため）

番号	訂正箇所		訂正文	訂正理由
	ページ	行		
61	42	表③	<p>645 大化の改新がおこる 61</p> <p>664 九州北部に防人がおかれ、山城や水城が築かれる 62</p>	<p>変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）</p> <p>変更が適切な体裁、記載（不要な情報を削除するため）</p>
63	43	図④		<p>変更が適切な体裁、記載（より正確な表記にするため）</p>



番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
64	43	図⑤			<p>変更が適切な体裁、記載（振り仮名を読み取りやすい書体に変更するため）</p>
65					<p>変更が適切な体裁、記載（P.44の図①との関係から対応する寺院を追加するため）</p>
66	43	図⑦			<p>変更が適切な体裁、記載（不要な情報を削除するため）</p>
67					<p>変更が適切な体裁、記載（地名「斑鳩」をより適切な位置で表記するため）</p>
68					<p>変更が適切な体裁、記載（古代の主な道をより適切な表記にするため）</p>

会 主なる都の移り変わり

会 主なる都の移り変わり

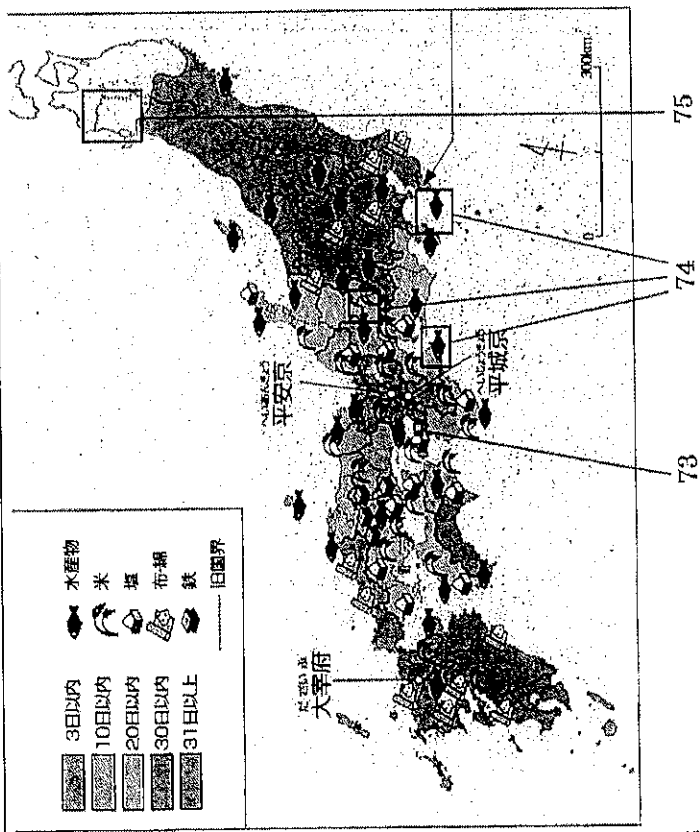
番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
69	44	図①	(別紙6)	(別紙6)	変更が適切な体裁、記載(振り仮名を読み取りやすい書体に変更するため) ✓
70	44	3～4行 目	平城京では、 皇族・貴族 から庶民までに宅地が割り当てられ、	平城京では、 皇族・貴族 から庶民までに宅地が割り当てられ、	変更が適切な体裁、記載(より適切な表記にするため) ✓
71	45	図④	(別紙7)	(別紙7)	変更が適切な体裁、記載(出羽と陸奥の国界をより適切な表記にするため) ✓
72					変更が適切な体裁、記載(CIDの観点から読み取りやすい配色に変更するため) ✓

番号 73

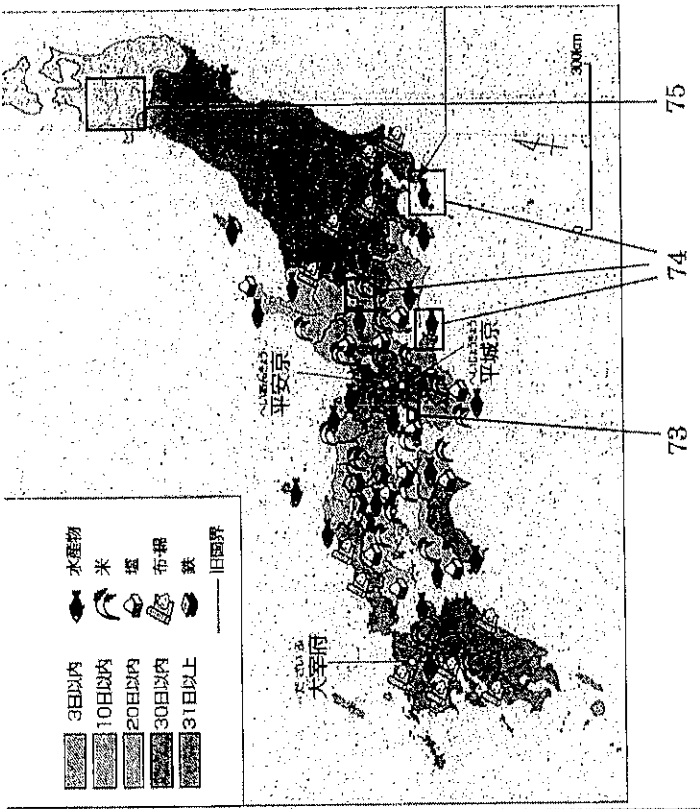
訂正箇所 ページ 47

図⑦

原文



訂正文



訂正理由

変更が適切な体裁、記載（不要な情報を削除するため）

変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）

変更が適切な体裁、記載（出羽と陸奥の国界をより適切な表記にするため）

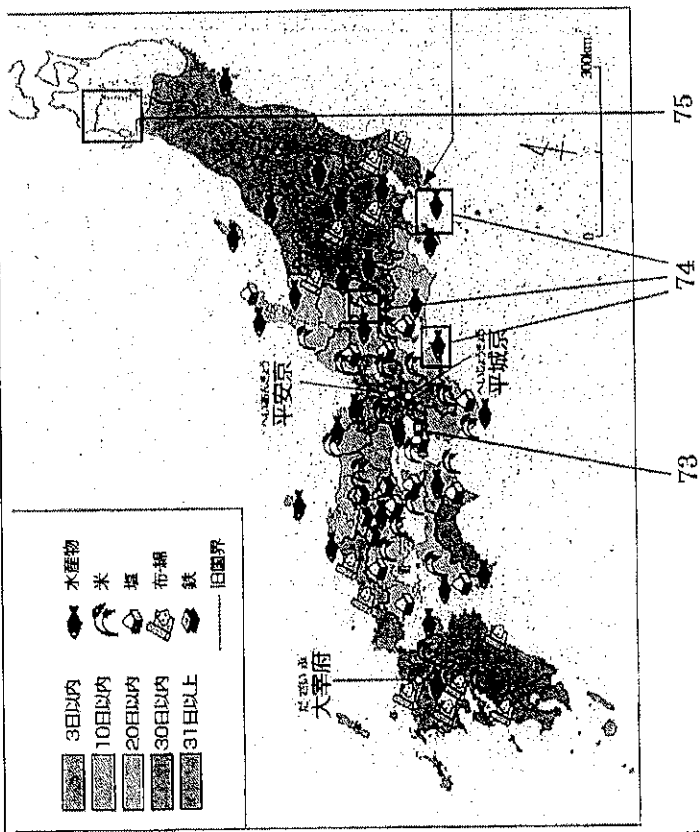
番号 74

訂正箇所

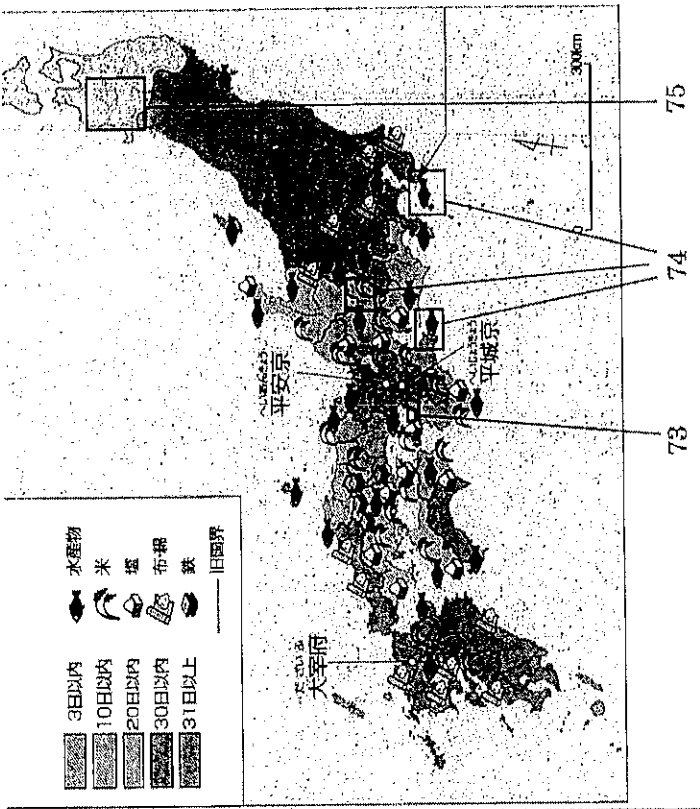
ページ

47

原文



訂正文



訂正理由

変更が適切な体裁、記載（不要な情報を削除するため）

変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）

変更が適切な体裁、記載（出羽と陸奥の国界をより適切な表記にするため）

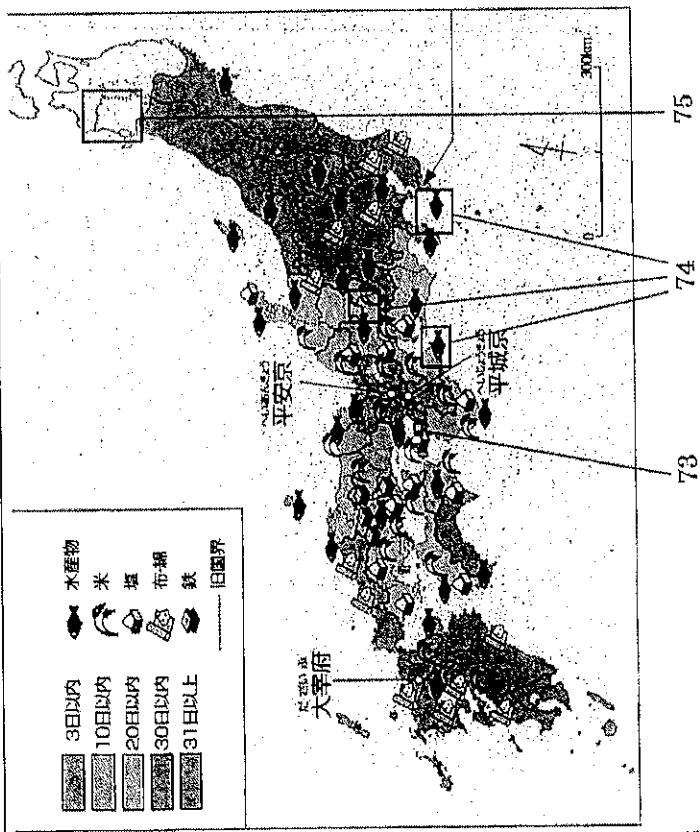
番号 75

訂正箇所

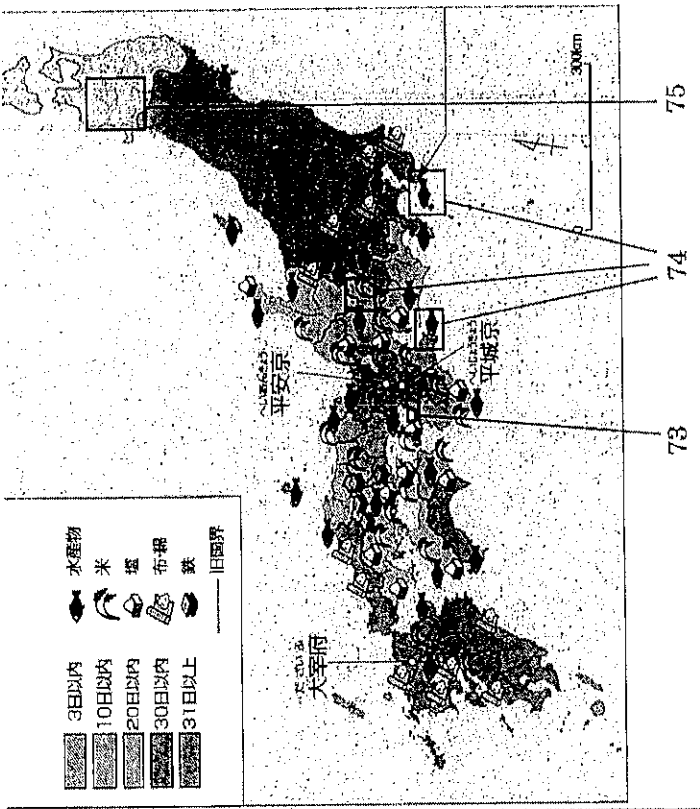
ページ

47

原文



訂正文



訂正理由

変更が適切な体裁、記載（不要な情報を削除するため）

変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）

変更が適切な体裁、記載（出羽と陸奥の国界をより適切な表記にするため）

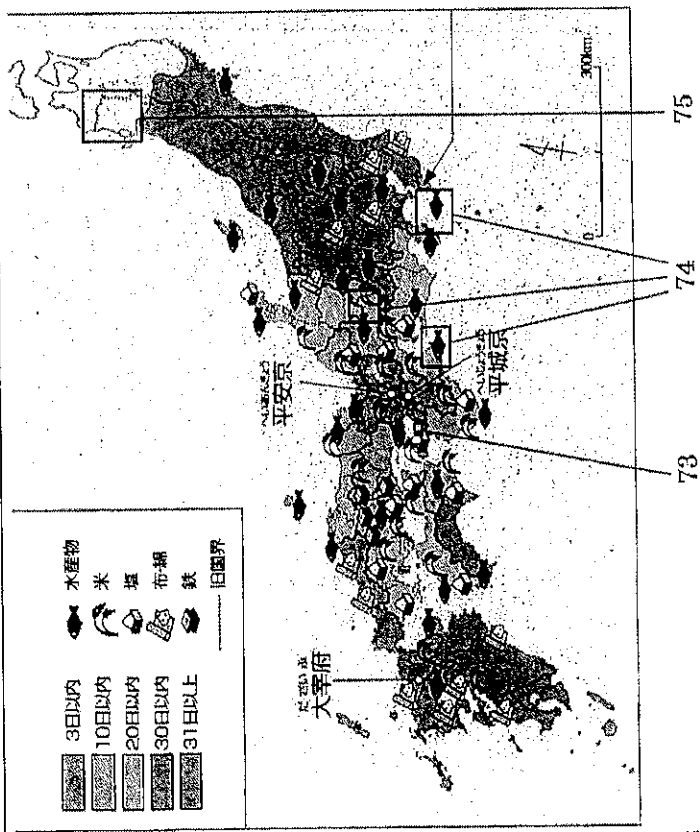
番号 76

訂正箇所

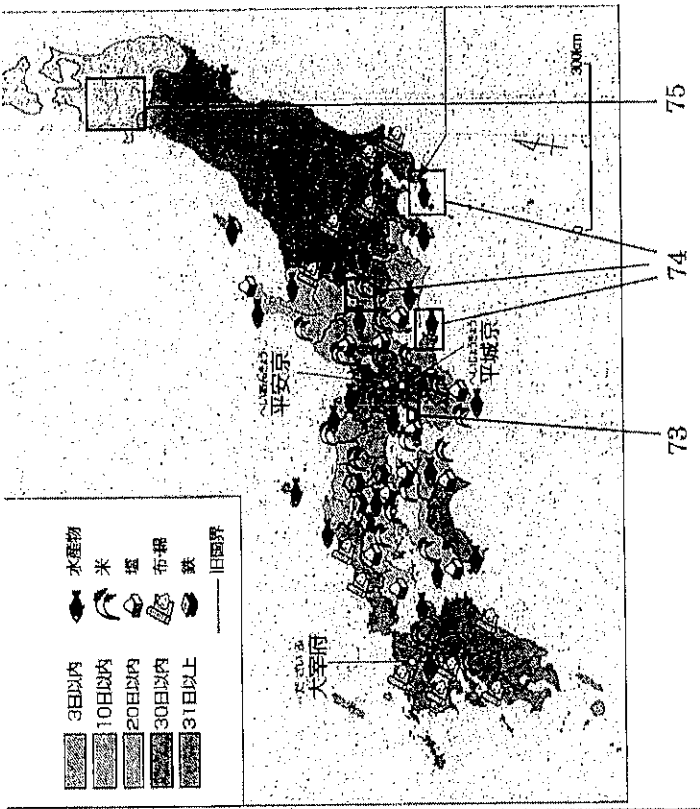
ページ

47

原文



訂正文



訂正理由

変更が適切な体裁、記載（不要な情報を削除するため）

変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）

変更が適切な体裁、記載（出羽と陸奥の国界をより適切な表記にするため）

図⑧資料活用

安房国から都に向かうまで、どれくらいの日数がかかるのか、地図⑧から読み取りましょう。

安房国から都に向かうまで、どれくらいの日数がかかるのか、地図⑧から読み取りましょう。

変更が適切な体裁、記載（P.41の資料活用のため）

図書の記号・番号

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
77	47	図⑨ キャプション	和同開珎は、708年に発行が始まった貨幣で、主に都の周辺で用いられました。 77 78 77	和同開珎は、708年に発行が始まった貨幣で、主に畿内（P.VII）とその周辺で用いられました。 77 78	変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため） 変更が適切な体裁、記載（箇所番号77の修正に伴い、参照頁を追加するため）
78					変更が適切な体裁、記載（箇所番号77の修正に伴い、参照頁を追加するため）
79	48	図⑤ キャプション	会正倉院(正倉) (奈良市) 奈良時代を代表する1万点以上の宝物が納められています。現在、宝物は収蔵庫に保管されています。国宝 世界遺産	会正倉院(正倉) (奈良市) 奈良時代を代表する1万点以上の宝物が納められています。現在、宝物は別の宝庫に保管されています。国宝 世界遺産	変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）
80	48	図⑥	(別紙8)	(別紙8)	変更が適切な体裁、記載（CUDの観点から読み取りやすい配色に変更するため）
81					変更が適切な体裁、記載（P.244 図①の表記などと統一するため）

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
82	50	図⑬	<p>栞本人麻呂の歌</p> <p>近江の海¹ 夕波千鳥² 汝³が鳴けば 心もしのに 古思ほゆ</p> <p>訳―近江の海の夕波に飛ぶ千鳥よ、おまえが鳴けば、心もしんみりとして、しみしみと昔のことが思い出される。(万葉集)</p>	<p>栞本人麻呂の歌</p> <p>近江の海¹ 夕波千鳥² 汝³が鳴けば 心もしのに 古思ほゆ</p> <p>訳―近江の海の夕波に飛ぶ千鳥よ、おまえが鳴けば、心もしんみりとして、しみしみと昔のことが思い出される。(万葉集)</p>	誤記等
83	50	図⑭	<p>栞本人麻呂の歌</p> <p>近江の海¹ 夕波千鳥² 汝³が鳴けば 心もしのに 古思ほゆ</p> <p>訳―近江の海の夕波に飛ぶ千鳥よ、おまえが鳴けば、心もしんみりとして、しみしみと昔のことが思い出される。(万葉集)</p>	<p>栞本人麻呂の歌</p> <p>近江の海¹ 夕波千鳥² 汝³が鳴けば 心もしのに 古思ほゆ</p> <p>訳―近江の海の夕波に飛ぶ千鳥よ、おまえが鳴けば、心もしんみりとして、しみしみと昔のことが思い出される。(万葉集)</p>	<p>変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）</p>



⑭「古事記」の序文(一部要約)

天武天皇は、「諸家の伝える天皇の歴史や神話・伝承は、すでに真実とちがひ、まちがひが加えられている。今、正さない、何年もたたないうちに本当のことがわからなくなるだろう。こうした記録は、国の政治の根本であり、天皇の政治のもととなるものだ」といわれ、記憶力の優れた稗田阿礼に正しい歴史や伝承を暗記させられた。…時がたつて元明天皇は、わたくし太安万侶に、「稗田阿礼の読み伝えるものを記録せよ」といわれたので、上・中・下の3巻にまとめました。



⑭「古事記」の序文(一部要約)

天武天皇は、「諸家の伝える天皇系図や神話・伝承は、すでに真実とちがひ、まちがひが加えられている。今、正さない、何年もたたないうちに本当のことがわからなくなるだろう。こうした記録は、国の政治の根本であり、天皇の力を広げることになるものだ」といわれ、記憶力の優れた稗田阿礼に正しい系図や伝承を暗記させられた。…時がたつて元明天皇は、わたくし太安万侶に、「稗田阿礼の読み伝えるものを記録せよ」といわれたので、上・中・下の3巻にまとめました。

訂正箇所
ページ

52

図①

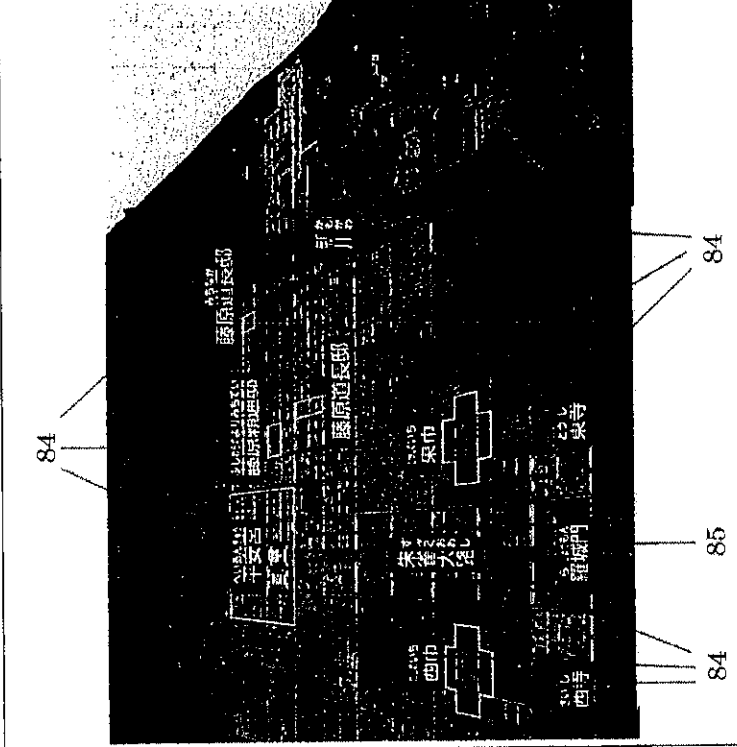
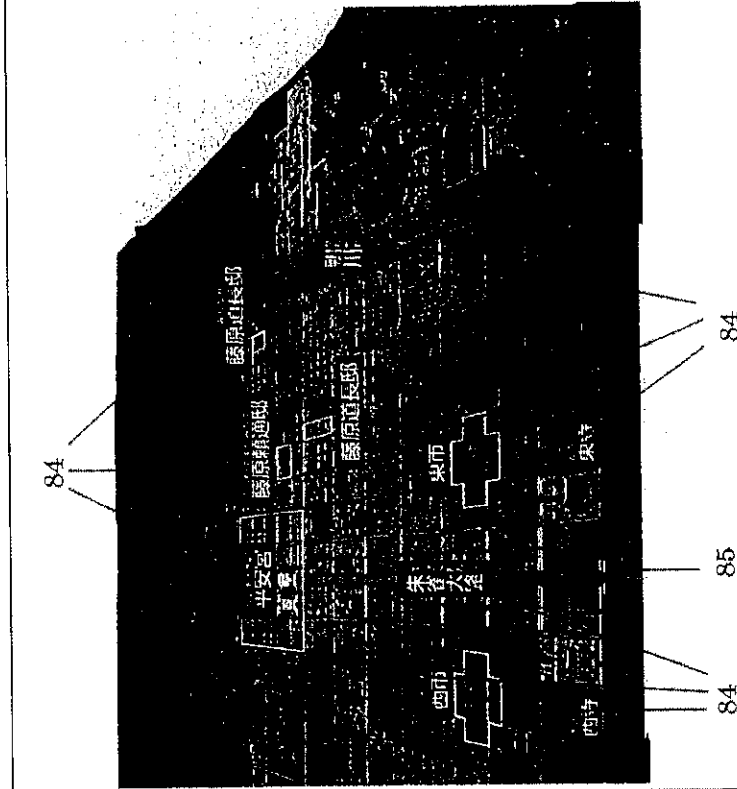
原文

訂正文

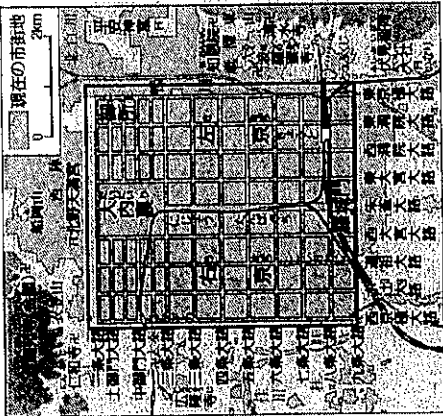
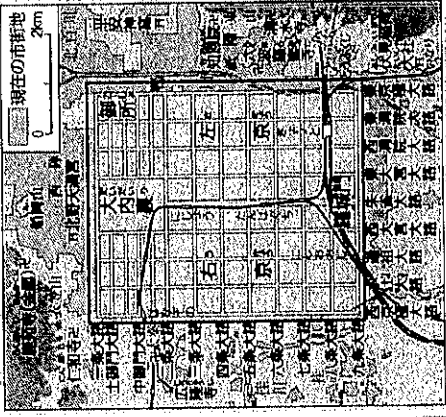
訂正理由

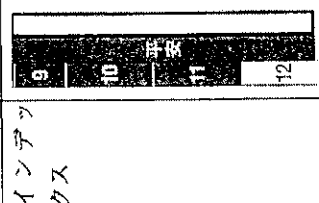

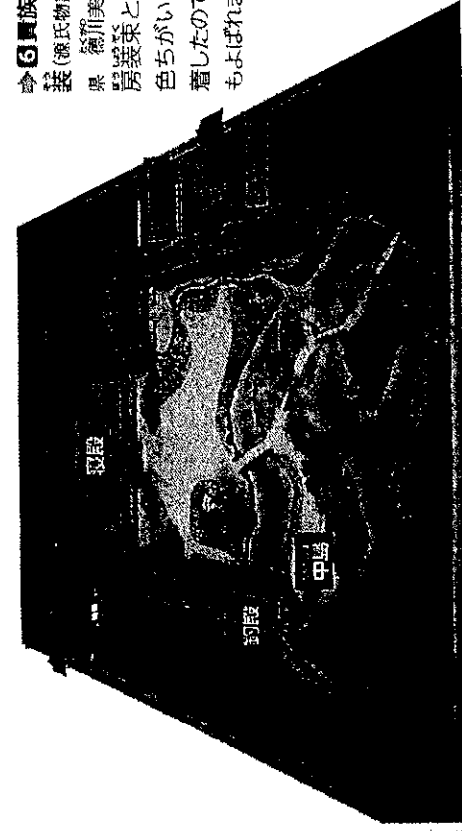
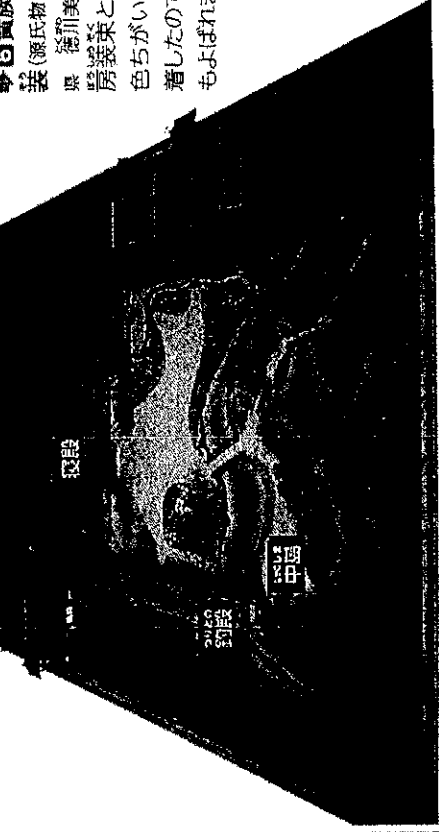
84

85




変更が適切な体
裁、記載（振り
仮名を読み取り
やすい書体に変
更するため）
変更が適切な体
裁、記載（図③
と比較しやすく
するため）





番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
86	52	図③			変更が適切な体裁、記載 (CID) の観点から読み取りやすい配色に変更するため
87	52	11行目	<p>る 国司 の不正をきびしくとりしまりました。また、税や勞役・兵役</p>	<p>る 国司 の不正をきびしくとりしまりました。また、税や勞役・兵役</p>	変更が適切な体裁、記載 (参照頁を追加するため)
88	52	表④	<p>806 最澄が天台宗を広める</p> <p>816 空海が高野山で真言宗を広める</p>	<p>806 最澄が天台宗を開く</p> <p>816 空海が朝廷から高野山をあたえられる</p>	変更が適切な体裁、記載 (より適切な表記にするため)

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
93	53	インデックス			変更が適切な体裁、記載（見開きの内容と対応させるため）
94	54	図① ネーム	①藤原道長（966～1027）（大阪市 藤田美術館蔵）	①藤原道長（966～1027）（大阪市 藤田美術館蔵）	変更が適切な体裁、記載（資料名の情報を追加するため）
95	55	図⑤			変更が適切な体裁、記載（振袖仮名を読み取りやすい書体に変更するため）
96	56	古代の女性 5～6行 目	<p>律令国家を建設し、新しい政治を進めていくうえで、女性天皇は大きな役割を果たしました。平安時代には女性天皇はみられなくなりませんが、</p>	<p>律令国家を建設し、新しい政治を進めていくうえで、女性天皇は大きな役割を果たしました。平安時代には女性天皇はみられなくなりませんが、</p>	変更が適切な体裁、記載（文意を明確にするため）

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
97	57	リード文	仏像は、信仰の対象である仏の姿をあらわしたもので、悟りを開いた者である如来像を示します。	仏像は、信仰の対象である仏の姿をあらわしたもので、悟りを開いた者である如来像を意味します。	変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）
98	57	仏像の名前	(別紙9)	(別紙9)	変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）
99	58	図⑤ ネーム	「 <u>百方塔陀羅尼</u> 」の修理前(上)と	「 <u>自心印陀羅尼</u> 」の修理前(上)と	誤記等
100	58	8～11行 目	文化財の修理とは、具体的にはどのようなことをするのでしょうか。修理技術者をたばねている <u>国宝修理装演師連盟</u> の理事に伺いました。	文化財の修理とは、具体的にはどのようなことをするのでしょうか。紙や絹でつくられた文化財の <u>保存修理を行う装演師</u> をたばねている <u>国宝修理装演師連盟</u> の理事に伺いました。	変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするために、振り仮名の初出に付すため）
101	59	①修理前の状態 ②ネーム	②瘧みの目立つ裳階の高欄	②瘧みの目立つ裳階の高欄	誤記等
102	59	中央の囲み	<p>修理にともなう調査で、東塔が奈良時代から同じ場所に立っていること、初重の天井板に729年と730年に伐採された木が使われていること、裳階に古代や中世などの瓦を使っていることなど、さまざまなことがわかりました。</p>	<p>修理にともなう調査で、東塔が奈良時代から同じ場所に立っていること、初重の天井板に729年と730年に伐採された木が使われていること、裳階に古代や中世などの瓦を使っていることなど、さまざまなことがわかりました。</p>	誤記等

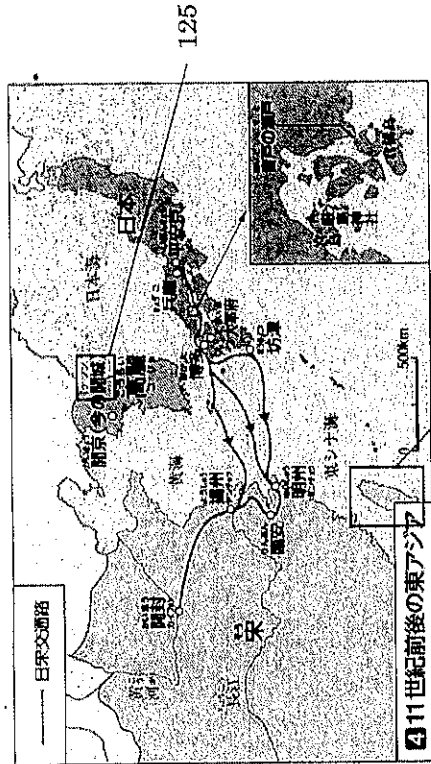
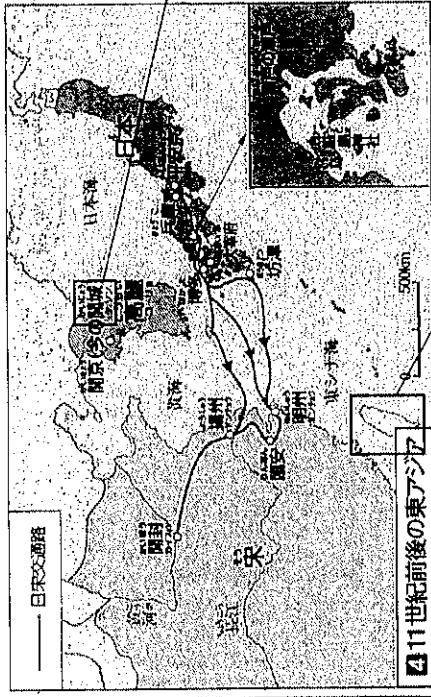




番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
103	60	見学計画	<p>見学計画</p> <p>日時 ◎◎年7月◎日(火) 午後1時 平城宮跡資料館集合</p> <p>見学ルート</p> <ol style="list-style-type: none"> 平城宮跡 ①平城宮跡資料館→②第一次大極殿・第一次朝堂院 →③第二次大極殿跡→④第二次朝堂院跡→⑤内裏の 井戸→⑥遺構展示館→⑦役所の建物→⑧東院庭園→ ⑨朱雀門(石のぞむ) ⑩長屋王邸跡 ⑪平城京左京三条二坊宮跡庭園 ⑫奈良市役所にある平城京復元模型(▶P.44) 	削除	変更が適切な体裁、記載(①)と③と同様に建物などの名称で統一するため)
104	61	6行目	高さ_29m, 間口_44m。	高さ約29m, 間口約44m。	変更が適切な体裁、記載(より適切な表記にするため)
105	61	14~15行目	かかります。大極殿から見て左手のいちばん手前が、当時No.1の政治差が政務についた場所です。	かかります。大極殿から見て左手のいちばん手前が、 <u>太政官の最高幹部が政務を行った場所</u> です。	変更が適切な体裁、記載(より適切な表記にするため)


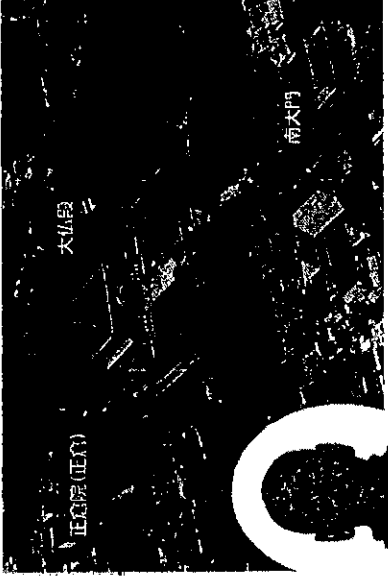
番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
106	61	左下囲み	<p>奈良時代の役所跡などへ行ってみよう</p> <p>奈良時代、各国には国府や国府寺・国分尼寺などがありました。また、東北地方には多賀城、九州には大宰府という朝廷の役所がおかれています(●P45)。</p> <p>みなさんの住んでいる地域の近くにも、それらの礎石が残っていたり、あるいは発掘された建物、土塀などを復元したり、またそこから出土した遺物を展示したりした資料館もあります。実際に、建物の大きさを体験してみましょ。</p> 	削除	変更が適切な体裁、記載(地方の呼び方を統一するため)
107	62	年表	(別紙10)	(別紙10)	変更が適切な体裁、記載(より適切な表記にするため)
108					変更が適切な体裁、記載(箇所番号107の修正に伴い、年表中のできごととの表示場所を変更するため)

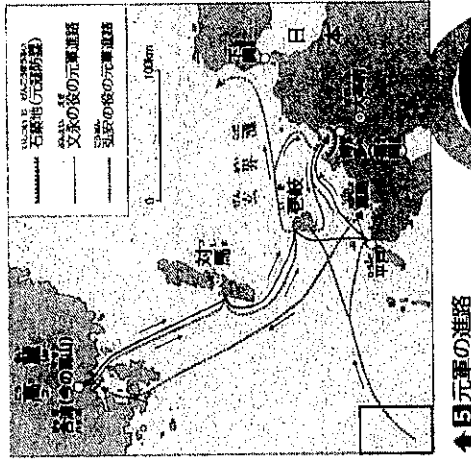
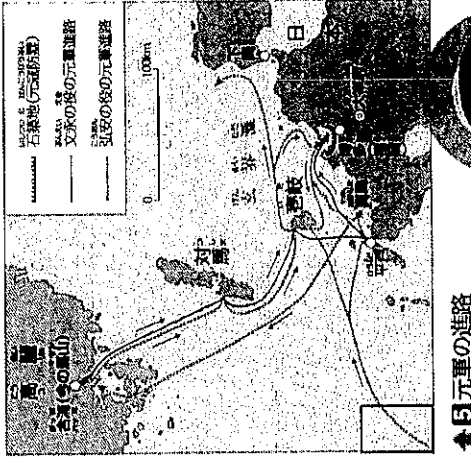

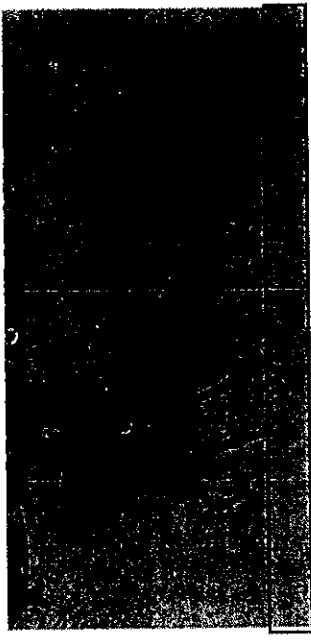
番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文	訂 正 理 由												
	ページ	行															
109	62	地図	(別紙11)	(別紙11)	変更が適切な体裁、記載 (P.48 図⑥)の赤道の表記などと統一する(ため) ✓ 変更が適切な体裁、記載 (P.38 図①)の表記などと統一する(ため) ✓ 変更が適切な体裁、記載 (第2編の内容に合わせた項目に変更するため) ✓ 変更が適切な体裁、記載 (より適切な表記にするため) ✓												
110																	
111																	
112	63	学習の流れ	 <p>ステップ3</p> <p>「文字の変化」は時代とどのように対応しているのでしょうか。</p>	 <p>ステップ2</p> <p>「文字の変化」は時代とどのように対応しているのでしょうか。</p>													
113	63	開み	 <p>ステップ3</p> <table border="1" data-bbox="1204 1265 1444 1915"> <tr> <th>② だれが書いたか</th> <th>③ 目的・内容</th> <th>④ 時代とのかかわり</th> </tr> <tr> <td>現在の埼玉県に住む藤原の平藤原が、471年に鞍馬に書かせたもの。</td> <td>自分(平藤原)が、獲加多支箇大主に仕えることになった由來を示すために書かせた。</td> <td>5世紀の日本では、朝鮮半島から伝わった漢字を使いこなして文章を書く人々が各地に現れたようだ。</td> </tr> </table>	② だれが書いたか	③ 目的・内容	④ 時代とのかかわり	現在の埼玉県に住む藤原の平藤原が、471年に鞍馬に書かせたもの。	自分(平藤原)が、獲加多支箇大主に仕えることになった由來を示すために書かせた。	5世紀の日本では、朝鮮半島から伝わった漢字を使いこなして文章を書く人々が各地に現れたようだ。	 <p>ステップ2</p> <table border="1" data-bbox="1197 436 1436 1086"> <tr> <th>② だれが書いたか</th> <th>③ 目的・内容</th> <th>④ 時代とのかかわり</th> </tr> <tr> <td>藤原の平藤原が、471年に鞍馬に書かせたもの。</td> <td>自分(平藤原)が、獲加多支箇大主に仕えることになった由來を示すために書かせた。</td> <td>5世紀の日本では、朝鮮半島から伝わった漢字を使いこなして文章を書く人がいたようだ。</td> </tr> </table>	② だれが書いたか	③ 目的・内容	④ 時代とのかかわり	藤原の平藤原が、471年に鞍馬に書かせたもの。	自分(平藤原)が、獲加多支箇大主に仕えることになった由來を示すために書かせた。	5世紀の日本では、朝鮮半島から伝わった漢字を使いこなして文章を書く人がいたようだ。	変更が適切な体裁、記載 (より適切な表記にするため) ✓
② だれが書いたか	③ 目的・内容	④ 時代とのかかわり															
現在の埼玉県に住む藤原の平藤原が、471年に鞍馬に書かせたもの。	自分(平藤原)が、獲加多支箇大主に仕えることになった由來を示すために書かせた。	5世紀の日本では、朝鮮半島から伝わった漢字を使いこなして文章を書く人々が各地に現れたようだ。															
② だれが書いたか	③ 目的・内容	④ 時代とのかかわり															
藤原の平藤原が、471年に鞍馬に書かせたもの。	自分(平藤原)が、獲加多支箇大主に仕えることになった由來を示すために書かせた。	5世紀の日本では、朝鮮半島から伝わった漢字を使いこなして文章を書く人がいたようだ。															

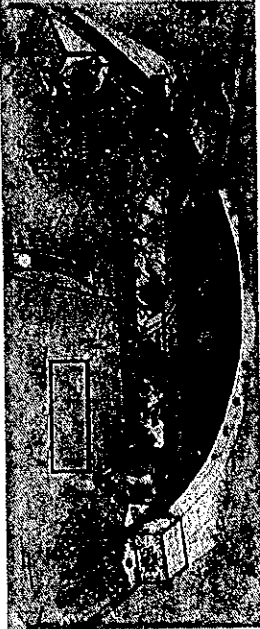
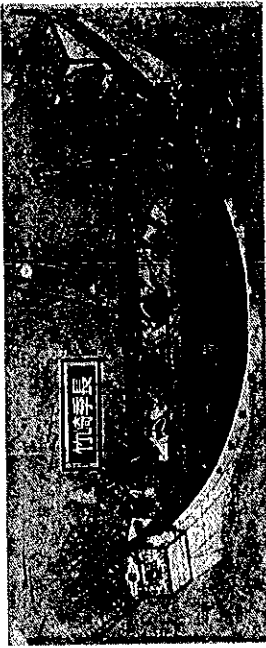
番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
114	65	めあて	平安時代の貴族の屋敷と鎌倉時代の武士の館のようすを比べて、	平安時代の上皇の御所と鎌倉時代の武士の館のようすを比べて、	変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）
115	65	図① ネーム	①平安時代の上皇の御所	①平安時代の正皇の御所	変更が適切な体裁、記載（箇所番号114の修正に伴い、振り仮名を初出に付するため）
116	66	地図	(別紙12)	(別紙12)	変更が適切な体裁、記載（P.16の「0°」の表記と統一するため）
117					変更が適切な体裁、記載（P.71図④の表記と統一するため）
118	66	年表	(別紙13)	(別紙13)	変更が適切な体裁、記載（該当の編で取り扱うできごとは太字で統一するため）
119					変更が適切な体裁、記載（より正確な表記にするため）

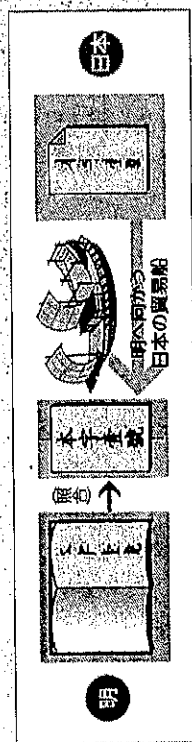

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
120	68	図①	(別紙14)	(別紙14)	変更が適切な体裁、記載(資料を読み取りやすくするため) 変更が適切な体裁、記載(箇所番号120の修正に伴い、より適切な表記にするため)
121					/
122	69	表⑤	935 平将門の乱が起こる 939 藤原純友の乱が起こる	935 平将門の乱が起こる (~40) 939 藤原純友の乱が起こる (~41)	変更が適切な体裁、記載(P.170表④の表記と統一するため)
123	70	図①	(別紙15)	(別紙15)	変更が適切な体裁、記載(より適切な表記にするため) 変更が適切な体裁、記載(CIDの観点から読み取りやすい配色に変更するため)
124					/

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
125	71	地図	 <p>125</p> <p>126</p> <p>11世紀前後の東アジヤ</p>	 <p>125</p> <p>126</p> <p>11世紀前後の東アジヤ</p>	変更が適切な体裁、記載（振り仮名の表記を統一するため）
126					変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）
127	76	図①	 <p>125</p> <p>126</p> <p>11世紀前後の東アジヤ</p> <p>(別紙16)</p>	 <p>125</p> <p>126</p> <p>11世紀前後の東アジヤ</p> <p>(別紙16)</p>	変更が適切な体裁、記載（資料を読み取りやすくするため）
128	78	図① ネーム キャプション 図② ネーム	 <p>125</p> <p>126</p> <p>11世紀前後の東アジヤ</p> <p>(別紙16)</p>	 <p>125</p> <p>126</p> <p>11世紀前後の東アジヤ</p> <p>(別紙16)</p>	変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
129	79	図⑥			変更が適切な体裁、記載（より適切な位置にするため）
130	81	図⑩	法然（1133～1212）（京都府 知恩寺蔵）	法然（1133～1212）（京都府 知恩院蔵）	誤記等
131	81	11行目	榮西は臨濟宗を、道元は曹洞宗を広めました。	榮西は臨濟宗を、道元は曹洞宗を広めました。	変更が適切な体裁、記載（重要語句を太字にするため）
132	82	図①	（別紙17）	（別紙17）	変更が適切な体裁、記載（国名の大きさや書体を統一するため）
133					変更が適切な体裁、記載（P.48 図⑥の赤道の表記などと統一するため）
134					変更が適切な体裁、記載（CUDの観点から読み取りやすい配色に変更するため）


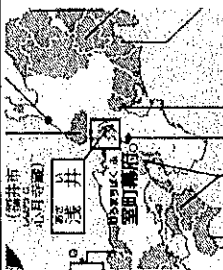
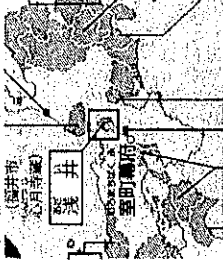
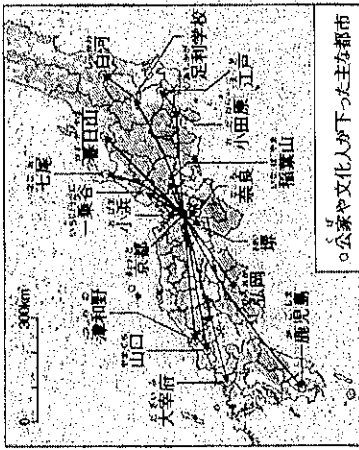
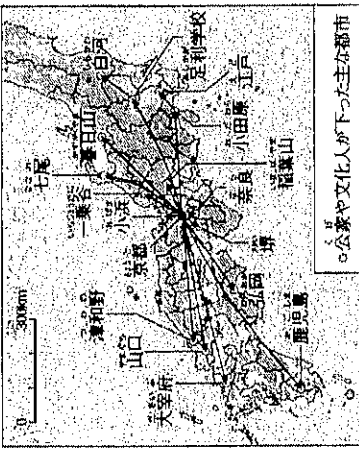
番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
135	83	図⑤	 <p>↑ ⑤ 元軍の進路</p>	 <p>↑ ⑤ 元軍の進路</p>	変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）
136	84	生徒キャラクターの発言	幕府の役人から、戦いのほうびをもらったみたいだよ。	幕府の役人から、戦いのほうびとして、土地や馬をあたえられたみたいだよ。	変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）
137	84	図⑨			変更が適切な体裁、記載（写真の掲載範囲を適切にするため）

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
138	84	図④			変更が適切な体裁、記載（資料を読み取りやすくするため）
139	84	側注①	①元は、この後も日本侵略を計画しましたが、	②元は、この後も日本侵略を計画しましたが、	変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）
140	84	6行目	①した（弘安の役）。2度にわたった元軍の襲来を、元寇といひます。	②した（弘安の役）。2度にわたった元軍の襲来を、元寇といひます。	変更が適切な体裁、記載（箇所番号139の訂正に伴い、参照番号を統一するため）
141	84	17行目	こうして、幕府を支える御家人の制度はゆらぎはじめました。 ▶P.72	こうして、幕府を支える御家人の制度はゆらぎはじめました。 ▶P.72~73	変更が適切な体裁、記載（参照頁を追加するため）
142	86	図①	周防（山口県） 「右の国々の荘、荒廃」	周防（山口県） 「右の国々の荘、荒廃」	変更が適切な体裁、記載（より適切な表記するため）
143	86	左段1行目	このころの荘園は、未開発地域を新たに開墾したも	古代の荘園は、未開発地域を新たに開墾したも	変更が適切な体裁、記載（より適切な表記するため）

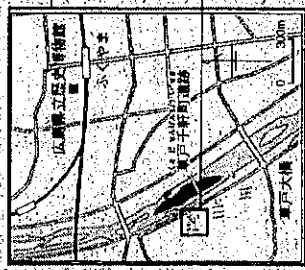
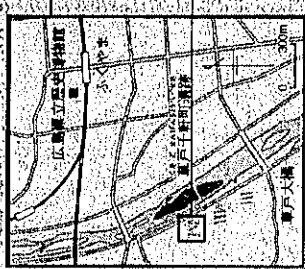
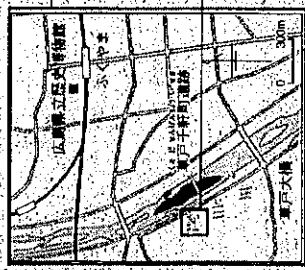
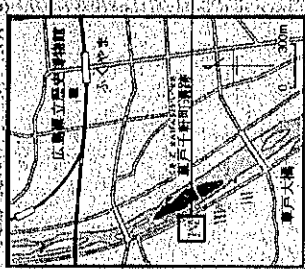
番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
144	89	6行目	された守護は、しだいに 国 の仕事を <small>P22</small> 行うよ	された守護は、しだいに 国 の仕事を <small>P72</small> 行うよ	変更が適切な体裁、記載(参照頁を追加するため)
145	90	図②			変更が適切な体裁、記載(より正確な表記にするため)
146	90	12行目	といます。明からは銅錢、生糸、絹織物、陶磁器などが輸入され、	といます。明からは銅錢、生糸、絹織物、陶磁器などが輸入され、	変更が適切な体裁、記載(参照番号を追加するため)
147	90	15行目	14世紀末の朝鮮半島では、李成桂が高麗をたおし、国号を朝鮮と改めました。朝鮮では独	14世紀末の朝鮮半島では、李成桂が高麗をたおし、国号を朝鮮と改めました。朝鮮では独	変更が適切な体裁、記載(より正確な位置にするため)
148	90	表④ ネーム	④14世紀～15世紀の日本と東アジアの動き	④14～15世紀の日本と東アジアの動き	変更が適切な体裁、記載(P.99表⑦の表記などと統一するため)
149	91	図⑤ ネーム	ハングル(奈良県 关理大学附属天理図書館蔵)	ハングル(月印千江曲 糸良県 关理大学附属天理図書館蔵)	変更が適切な体裁、記載(史料名を追加するため)

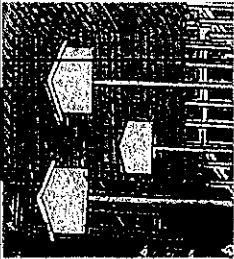
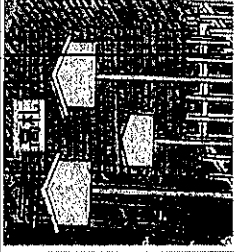


訂正箇所		訂正文	訂正理由
ページ	行		
150	91 図⑧ ネーム キャプション	<p>◆⑧ 復元された首里城 (沖縄県那覇市) 首里には、1879年まで琉球王国の都がおかれ、首里城はその王宮でした。沖縄戦で焼失した後、1992年に復元されましたが、2019年の火災で正殿などが焼失し、現在は再建が進められています。【世界遺産】</p>	更新が適切な事実の記載
151	8行目	<p>14世紀になると、按司を統率する「世の主」とよばれる権力者があらわれるようになり、</p> <p style="text-align: right;">561</p>	変更が適切な体裁、記載(振り仮名を追加するため)
561			変更が適切な体裁、記載(より適切な表記にするため)
152	92 右段7行 目	<p>太平洋戦争によって焼失してしまい、現在は写された</p> <p style="text-align: right;">152</p>	変更が適切な体裁、記載(参照頁を追加するため)
153		<p>太平洋戦争(▶P.249)によって焼失してしまい、現在は写された</p> <p style="text-align: right;">153</p>	変更が適切な体裁、記載(より正確な表記にするため)

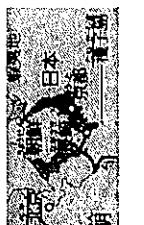

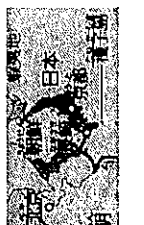

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文	訂 正 理 由
	ページ	行			
158	93	11行目	ポルトガルのアジア進出, さらには明の商人による東南アジア貿易	ポルトガルのアジア進出, さらには明の商人による東南アジア貿易 ▶P.114	変更が適切な体裁、記載(参照頁を追加するため)
159	94	図① キャブション	<p>◆◆◆ 1 商人たち 口木挽 き(三十三番商人歌合巻 東京 都 サントリ一美術館蔵) 室町 時代には、板をつくるのに中 国から伝わったのこぎりが使 われ、製材が容易になりました。 2 携織り 3 酒造り 4 紙すき (2) (3) (4) 七十一番商人歌 合 東京国立博物館蔵</p>	<p>◆◆◆ 1 商人たち 口木挽 き(三十三番商人歌合巻 東京 都 サントリ一美術館蔵) 室町 時代には、板をつくるのに中 国から伝わったのこぎりが使 われ、製材が容易になりました。 2 携織り 3 酒造り 4 紙すき (2) (3) (4) 七十一番商人歌 合 東京国立博物館蔵</p>	変更が適切な体裁、記載(より適切な表記にするため)
160	94	7行目	<p>商業が活発になると、交通の要地などで開かれる定期市の回数も増え、常設の市となるものもありました。</p>	<p>商業が活発になると、交通の要地などで開かれる定期市の回数も増え、常設の市となるものもありました。 ▶P.177</p>	変更が適切な体裁、記載(参照頁を追加するため)
161	95	図④			変更が適切な体裁、記載(本文17行目の上に付した振り仮名に統一するため)

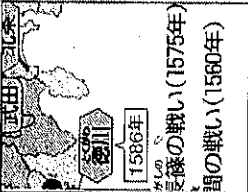
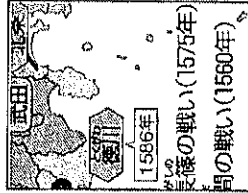
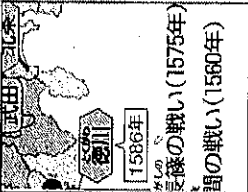
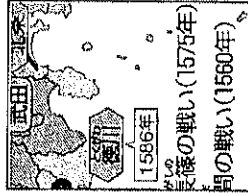
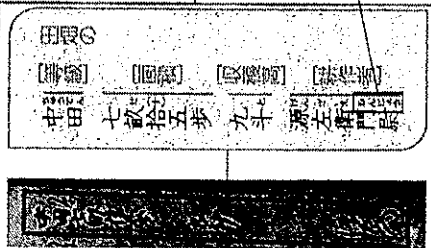
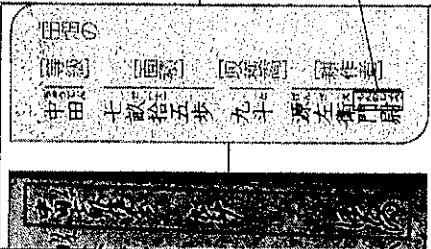
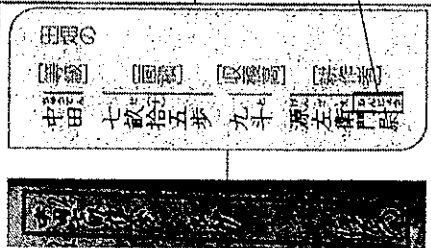
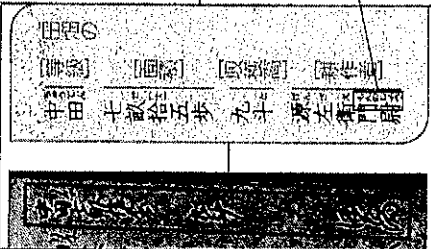
番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
162	95	インデックス			変更が適切な体裁、記載（見開きの内容と対応させるため）
163	96	表②	1485 山城国一揆が起こる	1485 山城国一揆が起こる (～93)	変更が適切な体裁、記載（巻末年表の表記と統一するため）
164	97	図⑥			変更が適切な体裁、記載（より適切な塗色にするため）
165	98	人物コラム	明への渡航は、雪舟の画風に大きな影響をあたえました。	帰国後は、山口 (▶P.100⑫) を拠点に各地で創作を行いました。	変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）
166	100	図⑫			変更が適切な体裁、記載（より適切な位置にするため）

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
167	101	図⑨ キャプション	柿本人麻呂をえがいた掛け軸の前に、	柿本人麻呂をえがいた掛軸の前に、	変更が適切な体裁、記載 (P.99の本文10行目の表記と統一するため)
168	101	9行目	また念仏踊りから益踊りが生まれました。	また念仏踊りから益踊りが生まれました。	誤記等
169	102	スキルUP 11行目	解説パネルやキャプションを参考に調べよう	解説パネルの説明文を参考に調べよう	変更が適切な体裁、記載 (文意を明確にするため)
170	103	図④			変更が適切な体裁、記載 (近世の地図に不要な情報を削除するため)
171	103	図④			変更が適切な体裁、記載 (縮尺を追加するため)
172	103	図⑤			変更が適切な体裁、記載 (図④の地図と比較しやすくするため)
173	103	図⑤			変更が適切な体裁、記載 (生徒のキャラクターの発言内の字形と統一するため)

番号	訂正箇所 ページ	原文	訂正文	訂正理由
174	103			変更が適切な体裁、記載（通路、橋、駅の色を白に統一するため）
175				変更が適切な体裁、記載（生徒キャラクターの発言内の字形と統一するため）
176	104	<p>(別紙18)</p>	<p>(別紙18)</p>	変更が適切な体裁、記載（より正確な表記にするため）
177	104	<p>(別紙19)</p>	<p>(別紙19)</p>	変更が適切な体裁、記載（より適切な塗色にするため）



番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
178	106	図①			変更が適切な体裁、記載（資料の読み取りに必要な情報を追加するため）
179	106	図①	 <p>の日本と世界</p>	 <p>の日本と世界</p>	変更が適切な体裁、記載（P.107のD・E・Fの表記と統一するため）
180	109	めあて 6行目	政治、社会、文化、外交の面で、	政治、社会、文化、外交の面で、	変更が適切な体裁、記載（P.159の「めあて」8行目の表記と統一するため）、
181	110	年表タイトル	第4章「近世の日本と世界」の動き	第4編「近世の日本と世界」の動き	誤記等
182	110	年表	(南北朝の内乱)	(南北朝の動乱)	変更が適切な体裁、記載（P.104の年表内の表記と統一するため）

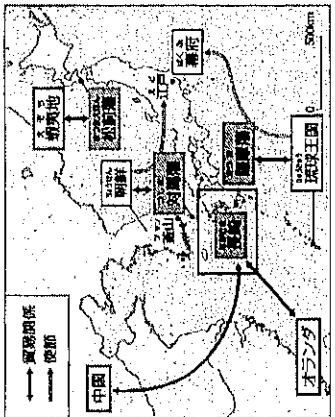
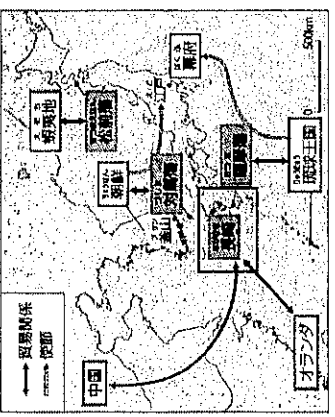
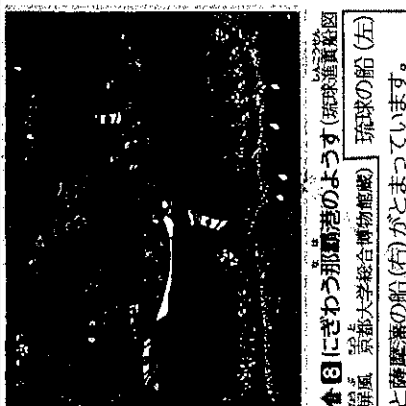


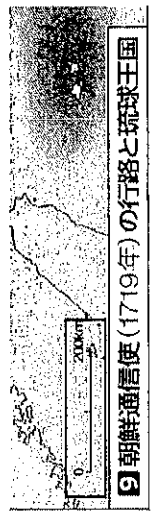
番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
183	110	年表	<p>江戸時代</p> <p>新田開墾が盛んになる</p> <p>享保の改革</p> <p>田沼の政治</p> <p>百姓二階が増える</p> <p>寛政の改革</p> <p>蘭学・国学が盛んになる</p>	<p>江戸時代</p> <p>新田開墾が盛んになる</p> <p>享保の改革</p> <p>田沼の政治</p> <p>百姓二階が増える</p> <p>寛政の改革</p> <p>蘭学・国学が盛んになる</p>	<p>変更が適切な体裁、記載（享保の改革の文字の位置を開始年である1716年にそろえるため）</p>
184	110-111	地図	<p>(別紙20)</p>	<p>(別紙20)</p>	<p>変更が適切な体裁、記載（CUDの観点から読み取りやすい配色に変更するため）</p>
185					<p>変更が適切な体裁、記載（P.222-223の地図の0°の字体と統一するため）</p>
186	112	5, 8行目	<p>地中海の大部分を支配しました。16, 17世紀には、インドやインドネシアにも、イスラム教徒（ムスリム）の有力な国が栄えました。</p> <p>イスラム教の世界は、地中海やインド洋などを利用した海上交易のほか、</p> 	<p>地中海の大部分を支配しました。16, 17世紀には、インドやインドネシアにも、イスラム教徒（ムスリム）の有力な国が栄えました。</p> <p>イスラム教の世界は、地中海やインド洋などを利用した海上交易のほか、</p> 	<p>変更が適切な体裁、記載（振り仮名を初出に付すため）</p>
187	114	図①			<p>変更が適切な体裁、記載（P.170の図2とP.116の7行目の表記と統一のため）</p>

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
188	117	図⑥ キャプション	<p>◆銅銭をえがいた信長の旗(御萬印 東京都 国立国会図書館蔵) 図⑥資料活用</p> <p>図⑥や本文を関連させて、信長が重視したことを考えましょう。</p> 	<p>◆銅銭をえがいた信長の旗(御萬印 東京都 国立国会図書館蔵) 図⑥資料活用</p> <p>図⑥や本文を関連させて、信長が重視したことを考えましょう。</p> 	変更が適切な体裁、記載(読み取りやすくなるため)
189	118	図②			変更が適切な体裁、記載(伊豆諸島の海岸線をより適切な位置にするため)
190	119	図⑥			変更が適切な体裁、記載(OJDの観点から読み取りやすい色に変更するため)
191					変更が適切な体裁、記載(より適切な表記にするため)
192	121	3行目	明への通行許可とを要求しました。	明への通行許可を要求しました。	変更が適切な体裁、記載(文意をより明確にするため)



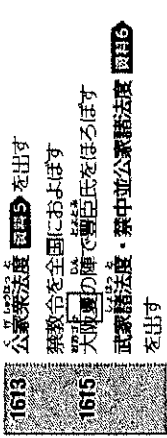
番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
193	121	図④ ネーム	1560年に石見で生産された銀（長さ16cm 島根県 石見银山資料館蔵）	1560年に石見で生産された銀（長さ16cm 島根県立古代出雲歴史博物館蔵）	誤記等 ／
194	121	図③ キャプション	補給路を絶ちました。	補給路を断ちました。	変更が適切な体裁、記載（より正確な表記にするため） ／
195	122	10行目	三線をもとに三味線がつくれ、	三線をもとに三味線がつくれ、 ▶ P.93	変更が適切な体裁、記載（参照頁を追加するため） ／
196	125	図③	(別紙21)	(別紙21)	更新が適切な事実の記載 ／

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
197	127	8行目	幕府には、重要な政務にあたる老中や、老中を補佐する若年寄などの職があり、支配にあたりました。	幕府には、重要な政務にあたる老中や、老中を補佐する若年寄などの職があり、支配にあたりました。	変更が適切な体裁、記載（振り仮名を初出に付すため）
198	128	6行目	日本へは、中国産の生糸・絹織物が主に輸入され、大量の銀が輸出されました。	日本へは、中国産の生糸・絹織物が主に輸入され、大量の銀が輸出されました。 ▶P.121	変更が適切な体裁、記載（参照頁を追加するため）
199	128	図② ネーム	朱印船（異国渡海船之図 長崎歴史文化博物館蔵）	朱印船（荒木宗太郎異国渡海船之図 船の科学館蔵）	変更が適切な体裁、記載（より適切な情報に差し替えるため）
200	128	図③	(別紙22)	(別紙22)	変更が適切な体裁、記載（地名を追加するため）
201					変更が適切な体裁、記載（箇所番号200の訂正に伴い、より適切な表記にするため）
202					変更が適切な体裁、記載（東子モールにあるポルトガル領を隠しているネームの位置を正し、それに伴い縮尺を移動するため）

番号	訂正箇所 ページ	原文	訂正文	訂正理由																																																												
203	128 図④ 右下			変更が適切な体裁、記載（拡大地図の範囲を示す囲みをより正確にするため）																																																												
204	129 8行目	記し、寺院に仏教徒であることを証明させ、キリスト教の禁止をいっそう強めました。 ⁷³	削除	変更が適切な体裁、記載（不要な情報を削除するため）																																																												
205	129 表⑩	<p>562</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>🔒 深めよう</p> <p>鎖国は、幕府にとってどのような利点があったのでしょうか。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>できごと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1549</td> <td>ザビエルがキリスト教を伝える</td> </tr> <tr> <td>1603</td> <td>徳川家康が征夷大将軍となる</td> </tr> <tr> <td>1609</td> <td>オランダに通商を許可する</td> </tr> <tr> <td>1611</td> <td>中国の商人に長崎での通商を許可する</td> </tr> <tr> <td>1613</td> <td>イギリスに通商を許可する</td> </tr> <tr> <td>1614</td> <td>全国でキリスト教を禁止する</td> </tr> <tr> <td>1614</td> <td>宣教師たちを国外に追放する</td> </tr> <tr> <td>1623</td> <td>イギリスが平戸の通商を開始する</td> </tr> <tr> <td>1624</td> <td>スペイン船の平戸を禁止する</td> </tr> <tr> <td>1635</td> <td>外国船の来航を長崎・平戸に限る</td> </tr> <tr> <td>1637</td> <td>日本人の海外渡航と帰国を禁止する</td> </tr> <tr> <td>1639</td> <td>島原・長門一帯が起る（～38）</td> </tr> <tr> <td>1639</td> <td>ポルトガル船の来航を禁止する</td> </tr> <tr> <td>1641</td> <td>平戸のオランダ通商を長崎の出島に移す</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>206</p>	年	できごと	1549	ザビエルがキリスト教を伝える	1603	徳川家康が征夷大将軍となる	1609	オランダに通商を許可する	1611	中国の商人に長崎での通商を許可する	1613	イギリスに通商を許可する	1614	全国でキリスト教を禁止する	1614	宣教師たちを国外に追放する	1623	イギリスが平戸の通商を開始する	1624	スペイン船の平戸を禁止する	1635	外国船の来航を長崎・平戸に限る	1637	日本人の海外渡航と帰国を禁止する	1639	島原・長門一帯が起る（～38）	1639	ポルトガル船の来航を禁止する	1641	平戸のオランダ通商を長崎の出島に移す	<p>562</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>🔒 深めよう</p> <p>鎖国は、幕府にとってどのような利点があったのでしょうか。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>できごと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1549</td> <td>ザビエルがキリスト教を伝える</td> </tr> <tr> <td>1603</td> <td>徳川家康が征夷大将軍となる</td> </tr> <tr> <td>1609</td> <td>オランダに通商を許可する</td> </tr> <tr> <td>1611</td> <td>中国の商人に長崎での通商を許可する</td> </tr> <tr> <td>1613</td> <td>イギリスに通商を許可する</td> </tr> <tr> <td>1614</td> <td>全国でキリスト教を禁止する</td> </tr> <tr> <td>1614</td> <td>宣教師たちを国外に追放する</td> </tr> <tr> <td>1623</td> <td>イギリスが平戸の通商を開始する</td> </tr> <tr> <td>1624</td> <td>スペイン船の平戸を禁止する</td> </tr> <tr> <td>1635</td> <td>外国船の来航を長崎・平戸に限る</td> </tr> <tr> <td>1637</td> <td>日本人の海外渡航と帰国を禁止する</td> </tr> <tr> <td>1639</td> <td>島原・長門一帯が起る（～38）</td> </tr> <tr> <td>1639</td> <td>ポルトガル船の来航を禁止する</td> </tr> <tr> <td>1641</td> <td>平戸のオランダ通商を長崎の出島に移す</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>206</p>	年	できごと	1549	ザビエルがキリスト教を伝える	1603	徳川家康が征夷大将軍となる	1609	オランダに通商を許可する	1611	中国の商人に長崎での通商を許可する	1613	イギリスに通商を許可する	1614	全国でキリスト教を禁止する	1614	宣教師たちを国外に追放する	1623	イギリスが平戸の通商を開始する	1624	スペイン船の平戸を禁止する	1635	外国船の来航を長崎・平戸に限る	1637	日本人の海外渡航と帰国を禁止する	1639	島原・長門一帯が起る（～38）	1639	ポルトガル船の来航を禁止する	1641	平戸のオランダ通商を長崎の出島に移す	変更が適切な体裁、記載（重要な項目を追加するため）
年	できごと																																																															
1549	ザビエルがキリスト教を伝える																																																															
1603	徳川家康が征夷大将軍となる																																																															
1609	オランダに通商を許可する																																																															
1611	中国の商人に長崎での通商を許可する																																																															
1613	イギリスに通商を許可する																																																															
1614	全国でキリスト教を禁止する																																																															
1614	宣教師たちを国外に追放する																																																															
1623	イギリスが平戸の通商を開始する																																																															
1624	スペイン船の平戸を禁止する																																																															
1635	外国船の来航を長崎・平戸に限る																																																															
1637	日本人の海外渡航と帰国を禁止する																																																															
1639	島原・長門一帯が起る（～38）																																																															
1639	ポルトガル船の来航を禁止する																																																															
1641	平戸のオランダ通商を長崎の出島に移す																																																															
年	できごと																																																															
1549	ザビエルがキリスト教を伝える																																																															
1603	徳川家康が征夷大将軍となる																																																															
1609	オランダに通商を許可する																																																															
1611	中国の商人に長崎での通商を許可する																																																															
1613	イギリスに通商を許可する																																																															
1614	全国でキリスト教を禁止する																																																															
1614	宣教師たちを国外に追放する																																																															
1623	イギリスが平戸の通商を開始する																																																															
1624	スペイン船の平戸を禁止する																																																															
1635	外国船の来航を長崎・平戸に限る																																																															
1637	日本人の海外渡航と帰国を禁止する																																																															
1639	島原・長門一帯が起る（～38）																																																															
1639	ポルトガル船の来航を禁止する																																																															
1641	平戸のオランダ通商を長崎の出島に移す																																																															
206				変更が適切な体裁、記載（箇所番号 205 の訂正に伴い、振り仮名を初出に付すため）																																																												
562				変更が適切な体裁、記載（箇所番号 205 の訂正に伴い、レイアウトを調整するため）																																																												
207	130 2行目	対馬藩（長崎県）のなかだちによって、	対馬藩（長崎県）のなかだちによって、	変更が適切な体裁、記載（より適切な位置にするため）																																																												

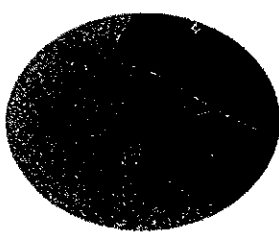
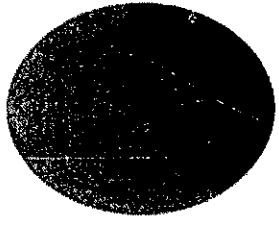
番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
208	130	図②			変更が適切な体裁、記載（長崎の囲みが地図上で位置を示したよ）を隠さないようにするため）
209	131	先人に学ぶ左段7行目	<p>「交隣提醒」をあらわして「誠心（真心）の交わり」の大切さを説くなど、朝鮮との友好に努めました。</p>	<p>「交隣提醒」をあらわして「誠信（真心）の交わり」の大切さを説くなど、朝鮮との友好に努めました。</p>	変更が適切な体裁、記載（より正確な表記にするため）
210	131	図⑧	 <p>▲ ⑧ にざわつ那覇港のようす（琉球進貢船図 屏風 京都大学総合博物館蔵） 琉球の船（左）と薩摩藩の船（右）がとまっています。</p>	 <p>▲ ⑧ にざわつ那覇港のようす（琉球進貢船図 屏風 京都大学総合博物館蔵）</p>	変更が適切な体裁、記載（より生徒の理解を助けるため）
211	131	図⑨ 左下	 <p>⑨ 朝鮮通信使（1719年）の行路と琉球王国</p>	 <p>⑨ 朝鮮通信使（1719年）の行路と琉球王国</p>	変更が適切な体裁、記載（縮尺を追加するため）

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
212	132	こんぶはめぐる	松前・蝦夷地から北前船が日本海を経由してもたらされたこんぶは、	松前・蝦夷地から北前船が日本海を経由してもたらしたこんぶは、	変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）
213	132	図⑥ ネーム	蝦夷地のこんぶ生産のようす	松前のこんぶ生産のようす	変更が適切な体裁、記載（より正確な表記にするため）
214	132	地域に学ぶ	(別紙23)	(別紙23)	更新が適切な事実の記載（国立アイヌ民族博物館が開館したため）
215					変更が適切な体裁、記載（振り仮名追加するため）
216	133	7行目	松前藩主や家臣は、船を蝦夷地に派遣し、わずかの米や鉄製品をアイヌの人々にわたし、	松前藩主や家臣は、船を蝦夷地に派遣し、わずかな米や鉄製品をアイヌの人々にわたし、	変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）
217	134	図③	<p>町人 約6% 武士 約7% 農工商 約84% 蝦夷地 約1.4% 総人口 約52万人</p>	<p>町人 約6% 武士 約7% 農工商 約84% 蝦夷地 約1.4% 総人口 約52万人</p>	変更が適切な体裁、記載 (CUI)の観点から読み取りやすい配色に変更するため)
218					変更が適切な体裁、記載 (町人などの表記と統一するため)

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
219	134	図①			変更が適切な体裁、記載(箇所番号217の訂正に伴い、より適切な表記にするため)
220	135	14行目	これらの人々は百姓・町人から疎外され、 <u>服装・交際</u> などできびしい制限を受けました。	これらの人々は百姓・町人から <u>疎外</u> され、 <u>服装・交際</u> などできびしい制限を受けました。	変更が適切な体裁、記載(文意をより明確にするため)
221	135	21行目	これ、 <u>家</u> のなかでは、 <u>家長</u> が <u>大きな刀</u> をもち、 <u>家族</u> はそれに <u>従</u> つこと <u>を強</u> いられました。	削除	変更が適切な体裁、記載(不要な情報を削除するため)
222	136	資料1		削除	変更が適切な体裁、記載(P.126表④の用語と統一のため)
223	138	2行目	17世紀から18世紀にかけて、 <u>年貢</u> を増やすために <u>幕府</u> や <u>藩</u> が <u>奨励</u> し、 <u>新田開発</u> が盛んに行	17世紀から18世紀にかけて、 <u>年貢</u> を増やすために <u>幕府</u> や <u>藩</u> が <u>奨励</u> し、 <u>新田開発</u> が盛んに行	変更が適切な体裁、記載(より適切な体裁にするため)
224	138	12行目	<u>販売</u> を目的につくられる <u>商品作物</u> の <u>栽培</u> も各地に広まりました。	<u>販売</u> を目的につくられる <u>商品作物</u> の <u>栽培</u> も各地に広まりました。	変更が適切な体裁、記載(他の太字と同様に振り仮名を付すため)

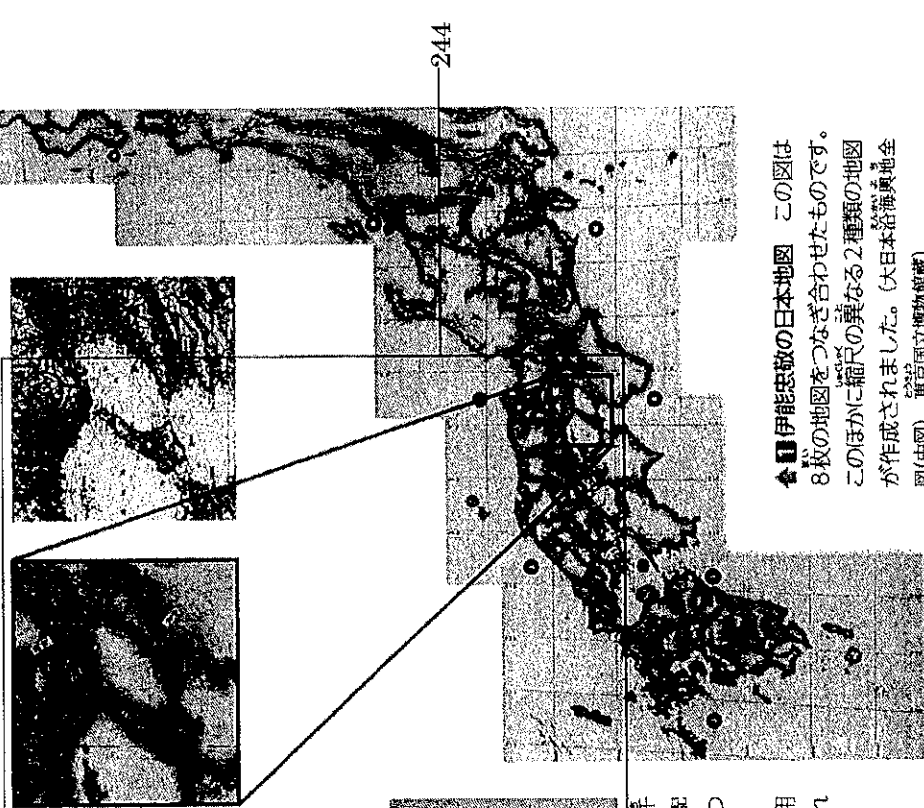
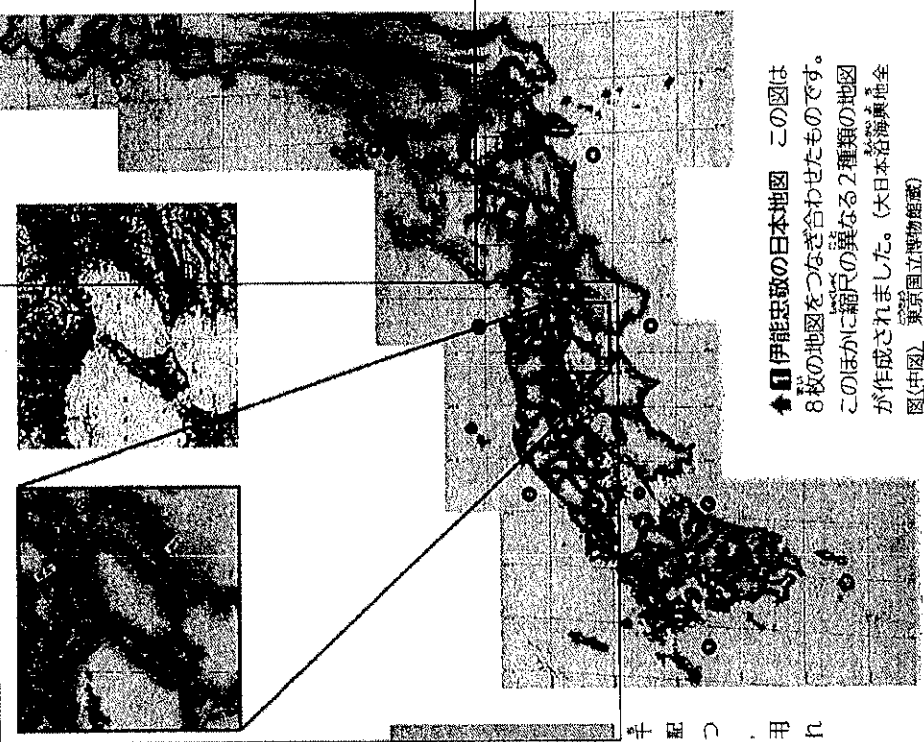
番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
225	139	図⑩ 付近			変更が適切な体裁、記載(項目名を追加するため)
226	140	図⑫			変更が適切な体裁、記載(より正確な位置にするため) / 変更が適切な体裁、記載(P.141本文9行目の表記と統一するため) /
228	140	図⑬ キャプション	<p>酒粕を使った安価な酢は、江戸ではやじはじめた<u>壽司</u>(▶P. II)に使われ、人々に喜ばれました。</p>	<p>酒粕を使った安価な酢は、江戸ではやじはじめた<u>すし</u>(▶P. II)に使われ、人々に喜ばれました。</p>	変更が適切な体裁、記載(P. II 図⑦の表記と統一するため) /
229	141	6行目	<p>手紙や小荷物を運ぶ飛脚がゆきかいました。</p>	<p>手紙や小荷物を運ぶ飛脚がゆきかいました。</p>	変更が適切な体裁、記載(より適切な位置にするため)

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
230	141	15行目	<p>家が住み、文化・芸能の中心として栄え、西陣織や清水焼などの手工業が盛んでした。</p>	削除	変更が適切な体裁、記載（不要な情報を削除するため）
231	141	図⑤ キヤブシ ヨン	<p>約30kmが国の史跡に指定され、現在も保存されています。</p>	約30kmが国の史跡に指定され、現在も保存されています。	変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）
232	142	図⑤			変更が適切な体裁、記載（より適切な位置にするため）
233	143	図⑦ ネーム	菱川師宣 (1618~1694) の浮世絵	菱川師宣 (1618?~1694) の浮世絵	変更が適切な体裁、記載 (P.312の表記と統一するため)

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由												
	ページ	行															
234	143	行番号	<p>とつ 哭りの土出ばさ 感動 十郎 一ノ木</p>  <p>井原西鶴 (1642~1693) (東京国立博物館蔵)</p>	<p>とつ 哭りの土出ばさ 感動 十郎 一ノ木</p>  <p>井原西鶴 (1642~1693) (東京国立博物館蔵)</p>	変更が適切な体裁、記載（より正確な位置にするため）												
235	144	図①	<p>飯肥藩の藩校で、明治時代に外務大臣となった永村善太郎 (P.189) もここで学びました。</p>	<p>飯肥藩の藩校で、明治時代に外務大臣となった永村善太郎 (P.203) もここで学びました。</p>	変更が適切な体裁、記載（より正確な表記にするため）												
236	145	19行目	<p>また、各地に読み・書き・そろばんを教える寺子屋が増え、民衆の教育水準が高まり、たくさんの本をもつ蔵書家も現れました。</p>	<p>また、各地に読み・書き・そろばんを教える寺子屋が増え、民衆の教育水準が高まり、たくさんの本をもつ蔵書家も現れました。</p>	変更が適切な体裁、記載（他の太字と同様に振り仮名を付すため）												
563			<p>236 563</p>	<p>236 563</p>	変更が適切な体裁、記載（箇所番号236の訂正に伴い、参照マーカーを移動するため）												
237	145	表②	<p>時代 世紀</p> <table border="1" data-bbox="1189 1512 1428 1892"> <tr><td>17</td><td>江戸時代</td></tr> <tr><td>18</td><td></td></tr> <tr><td>19</td><td></td></tr> </table> <p>できごと 水戸藩で「大白本史」の編輯開始 (1657) 5代将軍綱吉が湯島聖堂を建て (1691) 宮崎安貞「蘭学全書」を刊行 (1697) 各地に藩校が建てられるようになる (18世紀中ごろ)</p> <p>237 238</p>	17	江戸時代	18		19		<p>時代 世紀</p> <table border="1" data-bbox="1189 672 1428 1052"> <tr><td>17</td><td>江戸時代</td></tr> <tr><td>18</td><td></td></tr> <tr><td>19</td><td></td></tr> </table> <p>できごと 水戸藩で「大白本史」の編輯開始 (1657) 5代将軍綱吉が湯島聖堂を建て (1691) 宮崎安貞「蘭学全書」を刊行 (1697) 各地に藩校が建てられるようになる (18世紀中ごろ)</p> <p>237 238</p>	17	江戸時代	18		19		変更が適切な体裁、記載（より正確な表記にするため）
17	江戸時代																
18																	
19																	
17	江戸時代																
18																	
19																	
238					誤記等												

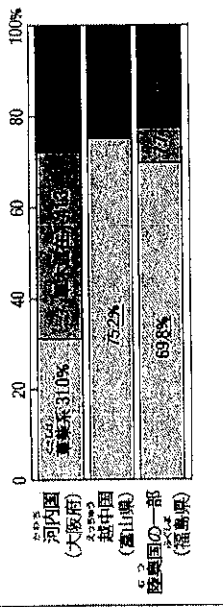
番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由								
	ページ	行											
239	146	4~6 行目	幕府や藩は、百姓から取り立てた年貢米を大阪に送り、お金に換え ました。しかし、全国の米が集まる大阪では、米の値段が他の品物に 対して安くなったため、深刻な財政難におちいりました。	幕府や藩は、百姓から取り立てた年貢米を大阪に送り、お金に換え ました。しかし、全国の米が集まる大阪では、米の値段が他の品物よ り安くなったため、幕府や藩は深刻な財政難におちいりました。	変更が適切な体 裁、記載(文意 を明確にするた め)								
240	146	表④	<table border="1"> <tr> <td>18</td> <td>田沼意次の政治(1767~86)</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>幕政の改革(1787~93) 大塚の改革(1841~43) 江戸幕府がほろぶ(1867)</td> </tr> </table>	18	田沼意次の政治(1767~86)	19	幕政の改革(1787~93) 大塚の改革(1841~43) 江戸幕府がほろぶ(1867)	<table border="1"> <tr> <td>18</td> <td>田沼意次の政治(1767~86)</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>幕政の改革(1787~93) 大塚の改革(1841~43) 江戸幕府がほろぶ(1867)</td> </tr> </table>	18	田沼意次の政治(1767~86)	19	幕政の改革(1787~93) 大塚の改革(1841~43) 江戸幕府がほろぶ(1867)	変更が適切な体 裁、記載(振り 仮名を追加する ため)
18	田沼意次の政治(1767~86)												
19	幕政の改革(1787~93) 大塚の改革(1841~43) 江戸幕府がほろぶ(1867)												
18	田沼意次の政治(1767~86)												
19	幕政の改革(1787~93) 大塚の改革(1841~43) 江戸幕府がほろぶ(1867)												

番号	訂正箇所		訂正文	訂正理由
	ページ	行		
241	148	吹き出し		変更が適切な体裁、記載（他の読点と表記を統一するため）
242	148	側注①	<p>灘（兵庫県）の酒、野田（千葉県）のしょう油、桐生（群馬県）・河内（大阪府）の織物などの生産で、多くみられました。</p>	変更が適切な体裁、記載（より適切な位置にするため）
243	149	先人に学ぶ 15～18行 目	<p>火山灰を掘ったあとの表面には土が出てくるので、今度はその土を掘り、溝を埋めた火山灰の上に積み上げます。</p>	変更が適切な体裁、記載（文意をより明確にするため）

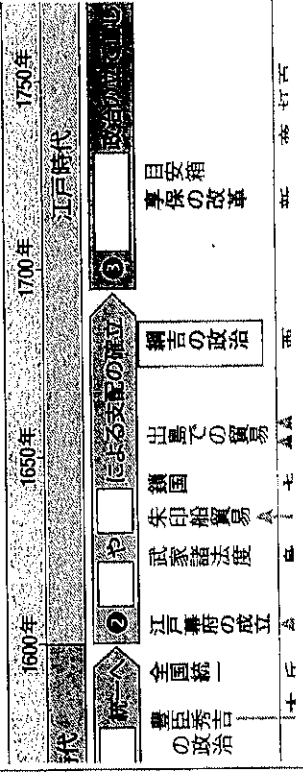
番号	訂正箇所		訂正文	訂正理由
	ページ	行		
244	150	図①	 <p>◆伊能忠敬の日本地図 この図は8枚の地図をつなぎ合わせたものです。このほかに縮尺の異なる2種類の地図が作成されました。(大日本沿海輿地全図(中図) 東京国立博物館蔵)</p> <p>手配つ、用れ</p>	<p>変更が適切な内容、記載(CD)の観点から読み取りやすい色に変更するため</p>
245			 <p>◆伊能忠敬の日本地図 この図は8枚の地図をつなぎ合わせたものです。このほかに縮尺の異なる2種類の地図が作成されました。(大日本沿海輿地全図(中図) 東京国立博物館蔵)</p> <p>手配つ、用れ</p>	<p>変更が適切な内容、記載(P.19)図⑤の表記などと統一するため</p>
246	152	図⑦ ネーム	<p>歌川広重 (1797~1858) の風景画 (東海道中五十三次 「四日市」 新瀉市 知足美術館蔵)</p>	誤記等
247	153	図⑧ ネーム	<p>江戸時代の弘前ねぶたのようす (上) (津軽風俗画卷 青森県立郷土資料館蔵)</p>	誤記等

番号	訂正文		訂正文理由
	ページ	行	
248	154	図④	変更が適切な体裁、記載(越中国と陸奥の国の一部の表記を河内国の表記と統一するため)
249	155	右段 9行目	そのほか、 <u>わ</u> ら <u>ら</u> く <u>ず</u> や <u>繩</u> 切 <u>れ</u> 、 <u>古</u> 置 <u>な</u> ど <u>だ</u> け <u>で</u> な <u>く</u> 、
250	156	年表	変更が適切な体裁、記載(重要な項目を追加するため)
251	156	地図	変更が適切な体裁、記載(P.4 図⑥の赤道の表記などと統一するため)

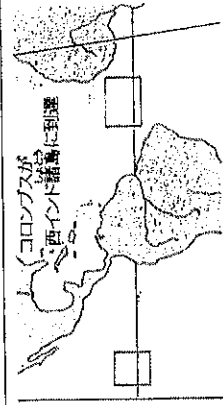
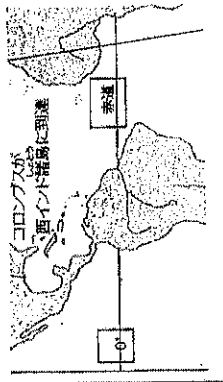
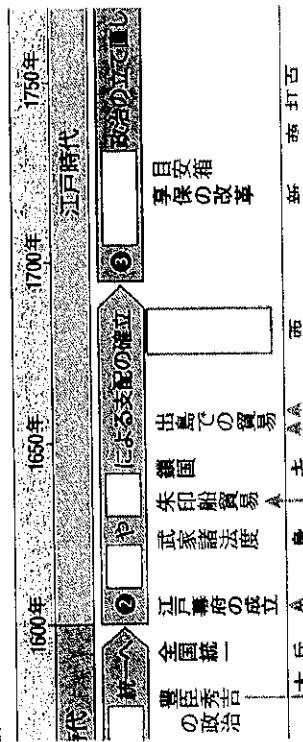
訂正文



そのほか、わららくずや繩切れ、古置などだけでなく、



そのほか、わららくずや繩切れ、古置などだけでなく、



番号	訂正文		訂正文	訂理由
	ページ	箇所		
252	157	資料1	<p>合計 79万8800円 貨幣改鑄基金 13 その他 24.5 諸大名からの上米金 3.6 長崎貿易基金など 6.9</p>	変更が適切な体裁、記載 (UD)の観点から読み取りやすい配色に変更するため)
253	157	資料2 ネーム	幕領の石高と年貢の取納率の推移	変更が適切な体裁、記載 (棒グラフ)の表記と統一するため)
254	157	ステップ3	<p>幕領の石高と年貢の取納率の推移</p> <p>▶ ステップ1・2の作業を通して、幕府はどんな世の中をめざしたのかを考えよう。</p> <p>254 255</p>	変更が適切な体裁、記載 (より正確な表記にするため)
255				変更が適切な体裁、記載 (活動指示の語尾を前後の文章と統一するため)




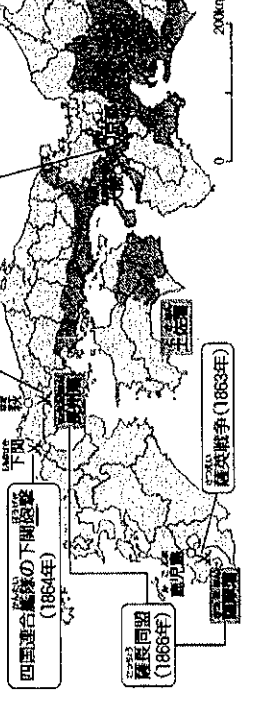
番号	訂正箇所		訂正文	訂正理由
	ページ	行		
256	159	めあて 9行目	これまでの時代とのちがいは何かを、自分の言葉で説明できるところをめざしましょう。	変更が適切な体裁、記載(P.109の「めあて」7行目の表記と統一するため)
257	159	図③ ネーム	1868年に江戸城に入る天皇 (小堀鞆音 東京御着巻<一部> 東京都 明治神宮聖徳記念絵画館蔵)	変更が適切な体裁、記載(表記統一のため)
258	160	年表		変更が適切な体裁、記載(領国の文字の位置を1639年ごろの位置にそろえるため)
259				変更が適切な体裁、記載(P.156の年表の用語と統一するため)

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由																																
	ページ	行																																			
260	160-161	地図	(別紙24)	(別紙24)	変更が適切な体裁、記載 (P.168 図①の表記と統一するため)																																
261					変更が適切な体裁、記載 (P.191 図④の表記と統一するため)																																
262					変更が適切な体裁、記載 (読み取りやすくするため)																																
263					変更が適切な体裁、記載 (より適切な表記にするため)																																
264	164	表③	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>できごと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1637</td> <td>蘭館開設 (P.337)</td> </tr> <tr> <td>1642</td> <td>ピューリタン革命 (~49) (P.5)</td> </tr> <tr> <td>1688</td> <td>名誉革命 (P.5)</td> </tr> <tr> <td>1689</td> <td>権利の憲典の制定 (P.5)</td> </tr> <tr> <td>1716</td> <td>厚徳の政教 (P.45)</td> </tr> <tr> <td>1748</td> <td>モンテスキュー『法の精神』刊 (P.4)</td> </tr> <tr> <td>1762</td> <td>ルソー『社会契約論』刊 (P.4)</td> </tr> </tbody> </table>	年	できごと	1637	蘭館開設 (P.337)	1642	ピューリタン革命 (~49) (P.5)	1688	名誉革命 (P.5)	1689	権利の憲典の制定 (P.5)	1716	厚徳の政教 (P.45)	1748	モンテスキュー『法の精神』刊 (P.4)	1762	ルソー『社会契約論』刊 (P.4)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>できごと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1637</td> <td>蘭館開設 (P.337)</td> </tr> <tr> <td>1642</td> <td>ピューリタン革命 (~49) (P.5)</td> </tr> <tr> <td>1688</td> <td>名誉革命 (P.5)</td> </tr> <tr> <td>1689</td> <td>権利の憲典の制定 (P.5)</td> </tr> <tr> <td>1716</td> <td>厚徳の政教 (P.45)</td> </tr> <tr> <td>1748</td> <td>モンテスキュー『法の精神』刊 (P.4)</td> </tr> <tr> <td>1762</td> <td>ルソー『社会契約論』刊 (P.4)</td> </tr> </tbody> </table>	年	できごと	1637	蘭館開設 (P.337)	1642	ピューリタン革命 (~49) (P.5)	1688	名誉革命 (P.5)	1689	権利の憲典の制定 (P.5)	1716	厚徳の政教 (P.45)	1748	モンテスキュー『法の精神』刊 (P.4)	1762	ルソー『社会契約論』刊 (P.4)	変更が適切な体裁、記載 (ピューリタン革命や享保の改革の表記と統一するため)
年	できごと																																				
1637	蘭館開設 (P.337)																																				
1642	ピューリタン革命 (~49) (P.5)																																				
1688	名誉革命 (P.5)																																				
1689	権利の憲典の制定 (P.5)																																				
1716	厚徳の政教 (P.45)																																				
1748	モンテスキュー『法の精神』刊 (P.4)																																				
1762	ルソー『社会契約論』刊 (P.4)																																				
年	できごと																																				
1637	蘭館開設 (P.337)																																				
1642	ピューリタン革命 (~49) (P.5)																																				
1688	名誉革命 (P.5)																																				
1689	権利の憲典の制定 (P.5)																																				
1716	厚徳の政教 (P.45)																																				
1748	モンテスキュー『法の精神』刊 (P.4)																																				
1762	ルソー『社会契約論』刊 (P.4)																																				
265	165	14行目	人間の基本的な権利を重視する啓蒙思想が広まりました。	人間の基本的な権利を重視する啓蒙思想が広まりました。	更が適切な体裁、記載 (他の太字と同様に振り仮名を付すため)																																

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文	訂 正 理 由																																								
	ページ	行																																											
266	168	図①			変更が適切な 裁、記載（南北戦争の勢力境界とワシントンの位置をより適切な表記にするため）																																								
267	168	表③	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>できごと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1853</td> <td>ロシアがシベリア鉄道建設を始める</td> </tr> <tr> <td>1861</td> <td>リンカーンが大統領となる</td> </tr> <tr> <td>1863</td> <td>アメリカで南北戦争が起こる</td> </tr> <tr> <td>1865</td> <td>南北戦争が終わる</td> </tr> <tr> <td>1867</td> <td>アラスカ買収</td> </tr> <tr> <td>1869</td> <td>アメリカ大陸横断鉄道が完成する</td> </tr> <tr> <td>1871</td> <td>プロイセンがドイツ帝国を統一</td> </tr> <tr> <td>1889</td> <td>大日本帝国憲法の発布</td> </tr> <tr> <td>1891</td> <td>ロシアがシベリア鉄道建設を始める</td> </tr> </tbody> </table>	年	できごと	1853	ロシアがシベリア鉄道建設を始める	1861	リンカーンが大統領となる	1863	アメリカで南北戦争が起こる	1865	南北戦争が終わる	1867	アラスカ買収	1869	アメリカ大陸横断鉄道が完成する	1871	プロイセンがドイツ帝国を統一	1889	大日本帝国憲法の発布	1891	ロシアがシベリア鉄道建設を始める	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>できごと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1853</td> <td>ロシアがシベリア鉄道建設を始める</td> </tr> <tr> <td>1861</td> <td>リンカーンが大統領となる</td> </tr> <tr> <td>1863</td> <td>アメリカで南北戦争が起こる</td> </tr> <tr> <td>1865</td> <td>南北戦争が終わる</td> </tr> <tr> <td>1867</td> <td>アラスカ買収</td> </tr> <tr> <td>1869</td> <td>アメリカ大陸横断鉄道が完成する</td> </tr> <tr> <td>1871</td> <td>プロイセンがドイツ帝国を統一</td> </tr> <tr> <td>1889</td> <td>大日本帝国憲法の発布</td> </tr> <tr> <td>1891</td> <td>ロシアがシベリア鉄道建設を始める</td> </tr> </tbody> </table>	年	できごと	1853	ロシアがシベリア鉄道建設を始める	1861	リンカーンが大統領となる	1863	アメリカで南北戦争が起こる	1865	南北戦争が終わる	1867	アラスカ買収	1869	アメリカ大陸横断鉄道が完成する	1871	プロイセンがドイツ帝国を統一	1889	大日本帝国憲法の発布	1891	ロシアがシベリア鉄道建設を始める	変更が適切な 裁、記載（巻末年表※6の表記と統一するため）
年	できごと																																												
1853	ロシアがシベリア鉄道建設を始める																																												
1861	リンカーンが大統領となる																																												
1863	アメリカで南北戦争が起こる																																												
1865	南北戦争が終わる																																												
1867	アラスカ買収																																												
1869	アメリカ大陸横断鉄道が完成する																																												
1871	プロイセンがドイツ帝国を統一																																												
1889	大日本帝国憲法の発布																																												
1891	ロシアがシベリア鉄道建設を始める																																												
年	できごと																																												
1853	ロシアがシベリア鉄道建設を始める																																												
1861	リンカーンが大統領となる																																												
1863	アメリカで南北戦争が起こる																																												
1865	南北戦争が終わる																																												
1867	アラスカ買収																																												
1869	アメリカ大陸横断鉄道が完成する																																												
1871	プロイセンがドイツ帝国を統一																																												
1889	大日本帝国憲法の発布																																												
1891	ロシアがシベリア鉄道建設を始める																																												
268	169	17行目	プロイセンが、1871年に、フランスとの戦争に勝利し、プロイセンを中心としたドイツ帝国の統一を果たしました。	プロイセンが、1871年に、フランスとの戦争に勝利し、プロイセンを中心としたドイツ帝国が成立しました。	変更が適切な 裁、記載（文章を明確にするため）																																								

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由	
	ページ	行				
269	169	図⑤			<p>変更が適切な体裁、記載（他の凡例とそろえて国名を追加するため）</p>	
270						<p>変更が適切な体裁、記載（フランス領及びイギリス領範囲を正確な表記にするため）</p>
271						<p>変更が適切な体裁、記載（アシヤンチのイギリス領を示す塗色を正確な位置にするため）</p>
272	170	図②			<p>変更が適切な体裁、記載（P. 114 図①の表記と統一するため）</p>	
273	171	6~7 行目				<p>ヨーロッパの国々が貿易を求めましたが、清は、外国との貿易を<u>広州</u>だけに限定しました。</p>
274	171	深めよう	<p>イギリスはインドと中国にどのような価値を見いだしていたのでしょうか。</p>	<p>イギリスはインドと中国にどのような価値を見いだしていたのでしょうか。</p>	<p>変更が適切な体裁、記載（表記統一のため）</p>	

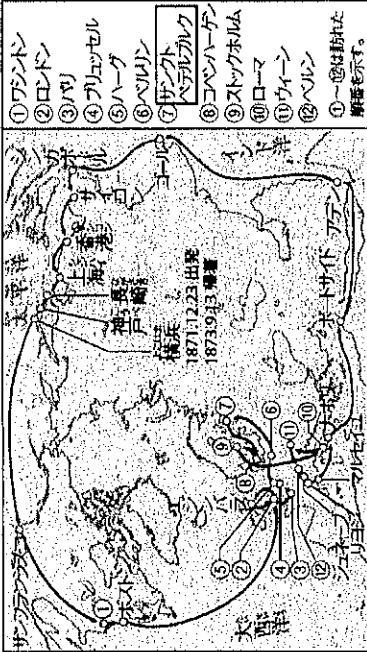
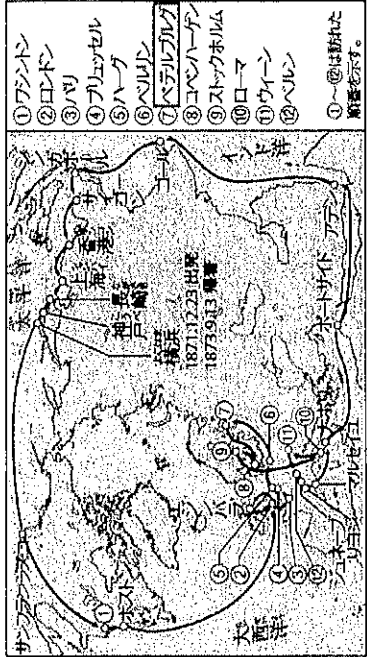
番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
280	174	図① キャブシ ヨン	船の体の色から、「黒船」とよばれました。	船の体の色から、「黒船」とよばれました。	変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）
281	175	6行目	5港が貿易のため開かれることになりました。	5港が貿易のため開かれることになりました。	変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）
282	175	図③	<p>輸出</p> <p>輸入</p>	<p>輸出</p> <p>輸入</p>	変更が適切な体裁、記載（CUDの観点から読み取りやすい配色に変更するため）
283	176	図①	(別紙26)	(別紙26)	変更が適切な体裁、記載（資料を読み取りやすくするため）
284	176	表③	1858 安政の大獄	1858 安政の大獄 (~59)	変更が適切な体裁、記載（巻末年表の表記と統一するため）

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
285	177	図⑤	 <p>◀ ⑤ ええじゃないか (東京都国文学研究資料館蔵) 寺社のお札が降ってきたとして、「ええじゃないか」と歌って踊っています。</p>  <p>▲ 幕末の世直しと倒幕の動き</p>	 <p>◀ ⑤ ええじゃないか (東京都国文学研究資料館蔵) 寺社のお札が降ってきたとして、「ええじゃないか」と歌って踊っています。</p>  <p>▲ 幕末の世直しと倒幕の動き</p>	変更が適切な体裁、記載 (P. 176 図⑤) の表記などと統一するため)
286	177	図③ ネーミング	 <p>◀ ⑤ ええじゃないか (東京都国文学研究資料館蔵) 寺社のお札が降ってきたとして、「ええじゃないか」と歌って踊っています。</p>  <p>▲ 幕末の世直しと倒幕の動き</p>	 <p>◀ ⑤ ええじゃないか (東京都国文学研究資料館蔵) 寺社のお札が降ってきたとして、「ええじゃないか」と歌って踊っています。</p>  <p>▲ 幕末の世直しと倒幕の動き</p>	変更が適切な体裁、記載 (P. 174 図①) の資料名などと表記を統一するため)

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由																																																																																
	ページ	行																																																																																			
287	179	図③	<table border="1"> <thead> <tr> <th>出版年</th> <th>幕府</th> <th>諸藩</th> <th>私費</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1862年</td> <td>14</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>1863年</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>1864年</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>1865年</td> <td>7</td> <td>17</td> <td>1</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>1866年</td> <td>15</td> <td>12</td> <td>3</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>1867年</td> <td>25</td> <td>21</td> <td>1</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>63</td> <td>54</td> <td>6</td> <td>123</td> </tr> </tbody> </table>	出版年	幕府	諸藩	私費	合計	1862年	14	0	0	14	1863年	1	4	0	5	1864年	1	0	1	2	1865年	7	17	1	25	1866年	15	12	3	30	1867年	25	21	1	47	合計	63	54	6	123	<table border="1"> <thead> <tr> <th>出版年</th> <th>幕府</th> <th>諸藩</th> <th>私費</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1862年</td> <td>14</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>1863年</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>1864年</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>1865年</td> <td>7</td> <td>17</td> <td>1</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>1866年</td> <td>15</td> <td>12</td> <td>3</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>1867年</td> <td>25</td> <td>21</td> <td>1</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>63</td> <td>54</td> <td>6</td> <td>123</td> </tr> </tbody> </table>	出版年	幕府	諸藩	私費	合計	1862年	14	0	0	14	1863年	1	4	0	5	1864年	1	0	1	2	1865年	7	17	1	25	1866年	15	12	3	30	1867年	25	21	1	47	合計	63	54	6	123	変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）
出版年	幕府	諸藩	私費	合計																																																																																	
1862年	14	0	0	14																																																																																	
1863年	1	4	0	5																																																																																	
1864年	1	0	1	2																																																																																	
1865年	7	17	1	25																																																																																	
1866年	15	12	3	30																																																																																	
1867年	25	21	1	47																																																																																	
合計	63	54	6	123																																																																																	
出版年	幕府	諸藩	私費	合計																																																																																	
1862年	14	0	0	14																																																																																	
1863年	1	4	0	5																																																																																	
1864年	1	0	1	2																																																																																	
1865年	7	17	1	25																																																																																	
1866年	15	12	3	30																																																																																	
1867年	25	21	1	47																																																																																	
合計	63	54	6	123																																																																																	
288	180	図④	<p>▶ 明治天皇 (1852~1912) (東京都 皇内庁 配)</p>	<p>▶ 明治天皇 (1852~1912) (東京都 皇内庁 配)</p>	変更が適切な体裁、記載（より適切な写真の示し方に変更するため）																																																																																
289	180	11行目	<p>新政府は、古代の律令国家にならって、中央に太政官という機構を新設して権力を集中し</p>	<p>新政府は、古代の律令国家にならって、中央に太政官という機構を新設して権力を集中し</p>	誤記等																																																																																

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
290	181	図③	<p>計 3,331,375 2000人 (1872年) 士族 148.9 (4.5%) 旧神官・僧尼 29.3 (0.9%) 家族・華族 0.3 平民 3,152,946.7 (94.3%)</p>	<p>計 3,331,375 2000人 (1872年) 士族 148.9 (4.5%) 旧神官・僧尼 29.3 (0.9%) 家族・華族 0.3 平民 3,152,946.7 (94.3%)</p>	変更が適切な体裁、記載(CUD)の観点から読み取りやすい配色に変更するため
291	182	表④	1872 官営模範工場がつくられる	1872 富岡製糸場がつくられる	変更が適切な体裁、記載(より適切な表記にするため)
292	183	図③	<p>前島密 (1835-1919) 郵便切手や全国均一料金など、近代的な郵便制度をつくりあげました。現在の1円普通切手にもなっています。</p>	<p>前島密 (1835-1919) 郵便切手や全国均一料金など、近代的な郵便制度をつくりあげました。現在の1円普通切手にもなっています。</p>	変更が適切な体裁、記載(より適切な表現に変更するため)
293	184	図④	<p>計 3,331,375 2000人 (1872年) 士族 148.9 (4.5%) 旧神官・僧尼 29.3 (0.9%) 家族・華族 0.3 平民 3,152,946.7 (94.3%)</p>	<p>計 3,331,375 2000人 (1872年) 士族 148.9 (4.5%) 旧神官・僧尼 29.3 (0.9%) 家族・華族 0.3 平民 3,152,946.7 (94.3%)</p>	変更が適切な体裁、記載 (P.179 図③などと表記を統一するため)

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
294	185	5行目	<p>私たちは、明治時代の官営工場の姿がほぼ完全なかたちで残っている「旧富岡製糸場」について調べることにしました。「旧富岡製糸場」は、近代化遺産に登録されています。</p>	<p>私たちは、明治時代の官営工場の姿がほぼ完全なかたちで残っている「旧富岡製糸場」について調べることにしました。「旧富岡製糸場」は、近代化遺産に登録されています。</p>	<p>変更が適切な体裁、記載（より適切な位置にするため）</p>
295	186	表②	<p>1872 福沢論書の「学問のすゝめ」が刊行される</p>	<p>1872 福沢論書の「学問のすゝめ」が刊行される（～76年）</p>	<p>変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）</p>
296	187	図④ ネーム キヤプション	<p>◆ 旧富岡高等学校（長野県松本市）はじめは藤寺を校舎として利用していました。後に地元の大工が設計し、工事費の約7割を当時の松本町民が寄付して建てられました。写真の校舎は、1876年に建てられたものです。</p> <p>296</p>	<p>◆ 旧富岡高等学校（長野県松本市）はじめは藤寺を校舎として利用していました。後に地元の大工が設計し、工事費の約7割を当時の松本町民が寄付して建てられました。写真の校舎は、1876年に建てられたものです。</p> <p>297</p>	<p>変更が適切な体裁、記載（P.189 図④の表記と統一するため）</p>
297					<p>変更が適切な体裁、記載（情報を追加するため）</p>

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文	訂 正 理 由
	ページ	行			
298	190	10行目	<p>関係に基づいた不平等条約の締結を，欧米諸国とのあいだに受け入れさせられたのでした。</p> <p>1871(明治4)年，政府は，不平等条約の改正に向けての交渉を行^{交渉}うこと，さらには近代国家建設の模範とするため，欧米文明諸国の</p>	<p>関係に基づいた不平等条約の締結を，欧米諸国とのあいだに受け入れさせられたのでした。</p> <p>1871(明治4)年，政府は，不平等条約の改正に向けての交渉を行^{交渉}うこと，さらには近代国家建設の模範とするため，欧米文明諸国の</p>	<p>変更が適切な体裁、記載（より適切な位置にするため）</p>
299	191	図④			<p>変更が適切な体裁、記載（P.202 図①などの表記と統一するため）</p>



番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
300	192	図①	<p>300</p>	<p>300</p>	変更が適切な体裁、記載（より適切な表色にするため）
301			<p>300</p>	<p>300</p>	変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）
302	192	図② 8行目	<p>千島列島は日本に属し、カムチャツカ半島のラバツカ岬と占守島のあいだの海峡を以て両国の境界とする。</p>	<p>千島列島は日本に属し、カムチャツカ半島のラバツカ岬と占守島のあいだの海峡を以て両国の境界とする。</p>	変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）
303	193	図⑤ ネーム	<p>(山田真山画 琉球藩設置<一部>_東京都 明治神宮聖徳記念絵画館蔵)</p>	<p>(山田真山画 琉球藩設置<一部>_東京都 明治神宮聖徳記念絵画館蔵)</p>	変更が適切な体裁、記載（P.174 図①の資料名などと表記を統一するため）

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
304	193	図⑥ ネーム	(高村真夫画 北海道巡幸屯田兵御覧<一部> 東京都 明治神宮聖徳記念絵画館蔵)	(高村真夫画 北海道巡幸屯田兵御覧<一部> 東京都 明治神宮聖徳記念絵画館蔵)	変更が適切な体裁、記載 (P.174 図①)の資料名などと表記を統一するため
305	193	連携コーナー	P.292~293 歴史を掘り下げる「冷戦終結後の近隣諸国」の関係」も見てみましょう。	P.292~293 歴史を掘り下げる「冷戦終結後の近隣諸国との関係」も見てみましょう。	変更が適切な体裁、記載 (P.292)のタイトルの表記と統一するため
306	194	10行目	しかし、欧米から相次いで帰国した大久保稔や木戸は、国内の改革を	しかし、欧米から相次いで帰国した大久保稔や木戸等は、国内の改革を	変更が適切な体裁、記載 (人物名の初出はフルネーム表記に合わせるため)
307	196	15行目	商社に払い下げようしました。	商社に払い下げようしました。	変更が適切な体裁、記載 (より適切な表記にするため)
308	198	コラム	近代国家の形成をめざして	近代国家の形成をめざした政治家	変更が適切な体裁、記載 (より適切な表記にするため)
309	200	見開きタイトル	藩閥政府と民衆	藩閥政府と民衆	変更が適切な体裁、記載 (振り仮名を追加するため)
310	200	6行目	自由民権運動の流れをくむ野党 (民党) の議員が	自由民権運動の流れをくむ民衆 (野党) の議員が	変更が適切な体裁、記載 (P.200 本文12行目など「民党」を主とした記述になっているため)

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
311	201	図③			変更が適切な体裁、記載 (CJIDの観点から読み取りやすい配色に変更するため)
312	201	図④			変更が適切な体裁、記載 (党派別のグラフと表記を統一するため)
313	201	図⑤ ネーム			変更が適切な体裁、記載 (P.200本文1行目の表記と統一するため)

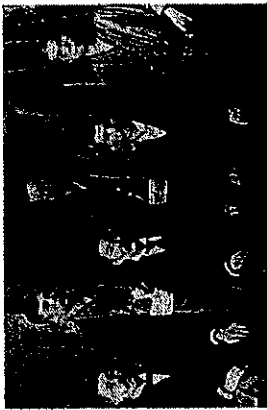
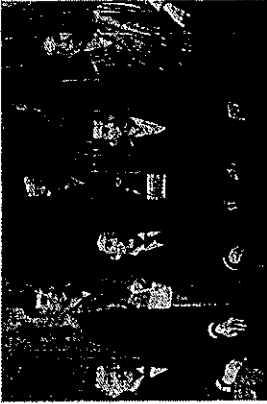
衆議院議員総選挙の風刺画 (ビゴ一筆)

⑤衆議院議員選挙の風刺画 (ビゴ一筆)

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
314	202	図①			変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）
315	203	図② キャプション	日本国内で抗議の声が高まり、	日本国内で抗議の声が高まり、	誤記等
316	203	図③ ネーム	（貴顕舞踏之図 兵庫県 神戸市立博物館蔵）	（貴顕舞踏の略図 兵庫県 神戸市立博物館蔵）	変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）
317	203	4行目	—やがて日本が立憲制国家としての体制を整えると、	—やがて日本が立憲制国家としての体制を整えると、	変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）

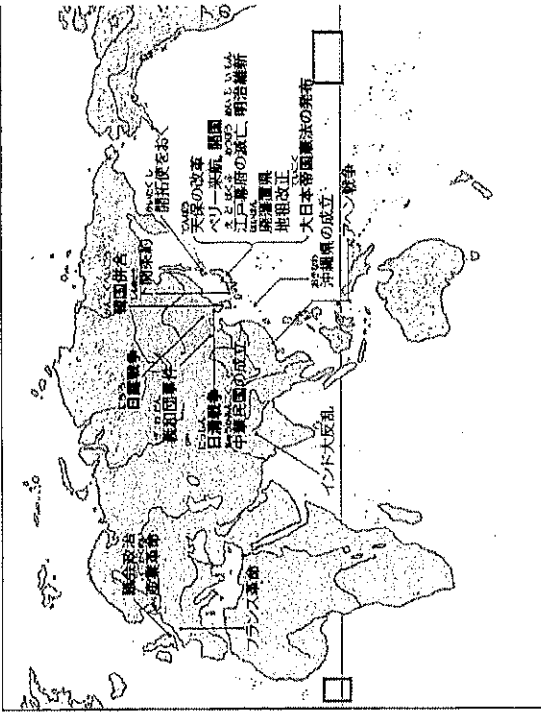
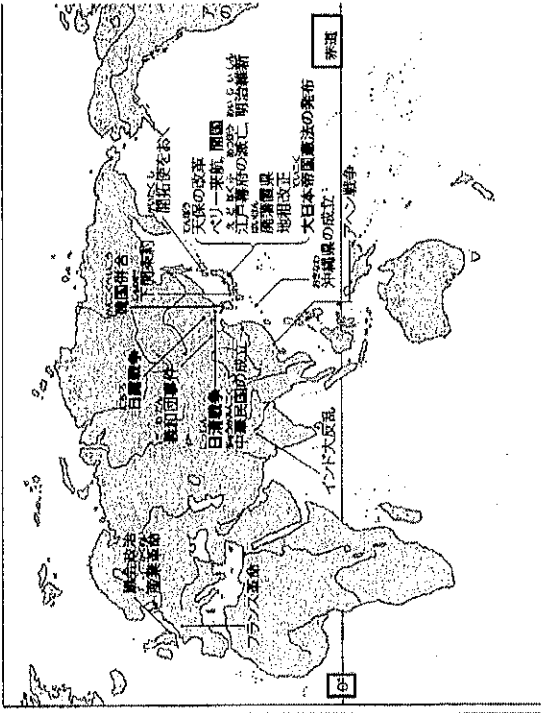
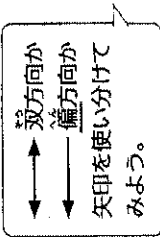
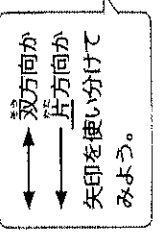
番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
318	203	インデックス			<p>変更が適切な体裁、記載（見開きの内容と対応させるため）</p>
319	204	図②			<p>変更が適切な体裁、記載（より適切な塗色にするため）</p>
320	205	図④ ネーム	<p>（永地秀太画 下関講和談判<一部> 東京都 明治神宮聖徳記念絵画館蔵）</p>	<p>（永地秀太画 下関講和談判<一部> 東京都 明治神宮聖徳記念絵画館蔵）</p>	<p>変更が適切な体裁、記載（P.174 図①の資料名などと表記を統一するため）</p>

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
326	209	インデックス			変更が適切な体裁、記載（見開きの内容と対応させるため）
327	210	図② ネーム	<p>②八幡製鉄所 (日本製鉄蔵)</p>	<p>②八幡製鉄所 (日本製鉄蔵)</p>	誤記等
328	211	図⑦		<p>削除</p>	変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
329	212	4行目 側注①	<p>向上をめざして、職工やさらにそうしたなかからす。1900(明治33)年、政りしまりを強めました。日露撃を受けましたが、日露きます。</p> <p>これに対し政府は、19労働者の12時間を超えるしました。しかし、当初で成立しませんでした。</p>  <p>↑日社会民主主義の創設者たち 左から3人目が幸徳秋水です。</p>	<p>向上をめざして、職工やさらにそうしたなかからす。1900(明治33)年、政りしまりを強めました。日露撃を受けましたが、日露きます。</p> <p>これに対し政府は、19労働者の12時間を超えるしました。しかし、当初で成立しませんでした。</p>  <p>↑日社会民主主義の創設者たち 左から3人目が幸徳秋水です。</p> <p>①一般に工場労働者をさす語でしたが、明治時代前半を中心に手工業の比重が高い日本の資本主義の特性を反映して、手工業に従事する職人の意味合いも含めて用いられました。</p>	変更が適切な体裁、記載(巻末年表の表記と統一するため)
330	213	囲み	夏目漱石 吾輩は猫である	夏目漱石 吾輩は猫である	変更が適切な体裁、記載(巻末年表の表記と統一するため)
331	213	図⑨ ネーム	⑨「吾輩は猫である」	⑨「吾輩は猫である」	変更が適切な体裁、記載(巻末年表の表記と統一するため)

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
332	214	図⑮			変更が適切な体裁、記載（より適切な位置にするため）
333	215	右段24行目	日本とトルコはたがいの命を尊重する国際協力が続けられています。	日本とトルコはたがいの命を尊重する国際協力を続けています。	変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）
334	216	リード文	銅山の操業停止と被災民の救済を求めた田中正造と政府の対応を学び、	銅山の操業停止と被害民の救済を求めた田中正造と政府の対応を学び、	変更が適切な体裁、記載（P.213本文6行目の表記と統一するため）
335	216	先生キヤラクターの発言	鉱山の操業停止と被災民救済を政府に訴えました。	鉱山の操業停止と被害民救済を政府に訴えました。	変更が適切な体裁、記載（P.213本文6行目の表記と統一するため）

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
338	217	資料5	<p>資料5 日本の輸出品に占める銅の割合</p> <p>1885年 銅 5.0% 絹織物 18.0% 綿織物 6.9% 石材 5.3% その他 20.7%</p> <p>1910年 銅 4.6% 絹織物 9.9% 綿織物 4.5% その他 20.4%</p> <p>(日本貿易精算)</p>	<p>資料5 日本の輸出品に占める銅の割合</p> <p>1885年 銅 5.0% 絹織物 18.0% 綿織物 6.9% 石材 5.3% その他 20.7%</p> <p>1910年 銅 4.6% 絹織物 9.9% 綿織物 4.5% その他 20.4%</p> <p>(日本貿易精算)</p>	<p>変更が適切な体裁、記載（不要な罫線を削除するため）</p>
339	218	年表	(別紙27)	(別紙27)	<p>変更が適切な体裁、記載（P.219のステップ1の活動を行いやすくするため）</p>
340					<p>変更が適切な体裁、記載（より適切な表記にするため）</p>
341	218	地図を使って	①歴史の主なきごとがどこで起こったのかを確認しよう。	①歴史の主なきごとがどこで起こったのかを確認しよう。	<p>変更が適切な体裁、記載（文意を明確にするため）</p>

番号	訂正箇所		訂正文	訂正理由
	ページ	行		
342	218	地図		
343	219	イ ビタイ	<p>▶明治政府の「政策」から、近代（前半）の特色にせまろう</p>	<p>▶明治政府の「政策」に着目して、近代（前半）の特色にせまろう</p>
344	219	ス 1	<p>▶P.218の年表にある歴史のできごとを、観点を決めて□に色をぬりま しょう。</p>	<p>▶P.218の年表にある歴史のできごとを、観点を決めて○に色をぬりま しょう。</p>
345	219	生 ラ の 発 言		

番号	訂正箇所		原文	訂正文	訂正理由
	ページ	行			
346	221	めあて 4行目	政治、社会、文化、外交の面で、	政治・社会・文化・外交の面で、	変更が適切な体裁、記載 (P.159の「めあて」8行目の表記と統一するため)
347	222	リード文 1行目	ヨーロッパでは、隣合うドイツとフランスが対立していました。	ヨーロッパでは、隣り合うドイツとフランスが対立していました。	変更が適切な体裁、記載 (より正確な表記にするため)
348	222	図①			変更が適切な体裁、記載 (各国の関係性をより読み取りやすくするため)
349	222	地図			変更が適切な体裁、記載 (国境線と色塗をより適切な位置にするため)

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文	訂 正 理 由
	ページ	行			
350	223	地図	(別紙28)	(別紙28)	変更が適切な体裁、記載 (P. 225 図⑥)の塗色と統一するため)
351					変更が適切な体裁、記載 (ケルゲレン島と海岸線をより適切な位置にするため)
352	226	図②	<p>1914年 水産米 35% 雑米 65% 1919年 水産米 35% 雑米 65%</p>	<p>1914年 水産米 35% 雑米 65% 1919年 水産米 35% 雑米 65%</p>	変更が適切な体裁、記載 (P. 267 図②)の表記の仕方と統一するため)
353	226	図④			変更が適切な体裁、記載 (CUP)の観点から読み取りやすい配色に変更するため)
354	227	5~6行目	<p>こえる軍隊をシベリアに送りま^①した。このシベリア^{シベリア}出兵^{出兵}に向けた米の買^②い付けや、米価の値上がり^{値上がり}をねらった買^③い占めのため、1918年</p>	<p>こえる軍隊をシベリアに送りま^①した。このシベリア^{シベリア}出兵^{出兵}に向けた米の買^②い付けや、米価の値上がり^{値上がり}をねらった買^③い占めのため、1918年</p>	変更が適切な体裁、記載 (よ ^④ り適切な位置にするため)
355	228	図① キャブシ ヨン	<p>手前のいすにすわるドイツの代表が^⑤署名^{署名}しています。</p>	<p>手前のいすにすわるドイツの代表が^⑤署名^{署名}しています。</p>	誤記等

番号	訂正文		原 文	訂正文	訂正理由																																																												
	ページ	行																																																															
356	228	図③ キャプション	P.225[5]と比べて、ちがいを読み取りましょう。	P.225[6]と比べて、ちがいを読み取りましょう。	誤記等																																																												
357	230	図① ネーム	国会議事堂前に集まる群衆 (1913年)	国会議事堂前に集まる群衆 (1913年)	変更が適切な体裁、記載 (より正確な表記にするため)																																																												
358	231	図⑤	<table border="1"> <caption>有権者数と全人口に占める割合</caption> <thead> <tr> <th>選挙法成立年</th> <th>1889年 (明治22)</th> <th>1900年 (明治33)</th> <th>1919年 (大正8)</th> <th>1925年 (大正14)</th> <th>1945年 (昭和20)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有権者数</td> <td>45万人 (1.1%)</td> <td>98 (22)</td> <td>307 (5.5)</td> <td>1241 (19.8)</td> <td>3688 (48.7)</td> </tr> <tr> <td>年齢</td> <td>25歳以上</td> <td>25歳以上</td> <td>25歳以上</td> <td>25歳以上</td> <td>20歳以上</td> </tr> <tr> <td>性別</td> <td>男</td> <td>男</td> <td>男</td> <td>男</td> <td>男女</td> </tr> <tr> <td>税金</td> <td>直接国税 15円以上</td> <td>直接国税 10円以上</td> <td>直接国税 3円以上</td> <td>直接国税 3円以上</td> <td>明瞭なし</td> </tr> </tbody> </table>	選挙法成立年	1889年 (明治22)	1900年 (明治33)	1919年 (大正8)	1925年 (大正14)	1945年 (昭和20)	有権者数	45万人 (1.1%)	98 (22)	307 (5.5)	1241 (19.8)	3688 (48.7)	年齢	25歳以上	25歳以上	25歳以上	25歳以上	20歳以上	性別	男	男	男	男	男女	税金	直接国税 15円以上	直接国税 10円以上	直接国税 3円以上	直接国税 3円以上	明瞭なし	<table border="1"> <caption>有権者数と全人口に占める割合</caption> <thead> <tr> <th>選挙法成立年</th> <th>1889年 (明治22)</th> <th>1900年 (明治33)</th> <th>1919年 (大正8)</th> <th>1925年 (大正14)</th> <th>1945年 (昭和20)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有権者数</td> <td>45万人 (1.1%)</td> <td>98 (22)</td> <td>307 (5.5)</td> <td>1241 (19.8)</td> <td>3688 (48.7)</td> </tr> <tr> <td>年齢</td> <td>25歳以上</td> <td>25歳以上</td> <td>25歳以上</td> <td>25歳以上</td> <td>20歳以上</td> </tr> <tr> <td>性別</td> <td>男</td> <td>男</td> <td>男</td> <td>男</td> <td>男女</td> </tr> <tr> <td>税金</td> <td>直接国税 15円以上</td> <td>直接国税 10円以上</td> <td>直接国税 3円以上</td> <td>直接国税 3円以上</td> <td>明瞭なし</td> </tr> </tbody> </table>	選挙法成立年	1889年 (明治22)	1900年 (明治33)	1919年 (大正8)	1925年 (大正14)	1945年 (昭和20)	有権者数	45万人 (1.1%)	98 (22)	307 (5.5)	1241 (19.8)	3688 (48.7)	年齢	25歳以上	25歳以上	25歳以上	25歳以上	20歳以上	性別	男	男	男	男	男女	税金	直接国税 15円以上	直接国税 10円以上	直接国税 3円以上	直接国税 3円以上	明瞭なし	変更が適切な体裁、記載 (上のグラフと下の表との関係を読み取りやすくするため)
選挙法成立年	1889年 (明治22)	1900年 (明治33)	1919年 (大正8)	1925年 (大正14)	1945年 (昭和20)																																																												
有権者数	45万人 (1.1%)	98 (22)	307 (5.5)	1241 (19.8)	3688 (48.7)																																																												
年齢	25歳以上	25歳以上	25歳以上	25歳以上	20歳以上																																																												
性別	男	男	男	男	男女																																																												
税金	直接国税 15円以上	直接国税 10円以上	直接国税 3円以上	直接国税 3円以上	明瞭なし																																																												
選挙法成立年	1889年 (明治22)	1900年 (明治33)	1919年 (大正8)	1925年 (大正14)	1945年 (昭和20)																																																												
有権者数	45万人 (1.1%)	98 (22)	307 (5.5)	1241 (19.8)	3688 (48.7)																																																												
年齢	25歳以上	25歳以上	25歳以上	25歳以上	20歳以上																																																												
性別	男	男	男	男	男女																																																												
税金	直接国税 15円以上	直接国税 10円以上	直接国税 3円以上	直接国税 3円以上	明瞭なし																																																												
359	232	見開き タイトル	2 社会運動の広がり -声を上げる人々-	2 社会運動の広がり -声を上げる人々-	変更が適切な体裁、記載 (P. 233 本文12行目の表記と統一するため)																																																												
360	232	4行目	全国規模の日本労働総同盟がつくられました。	全国規模の日本労働総同盟がつくられました。	誤記等																																																												

番号	訂正箇所 ページ	原文	訂正文	訂正理由
361	232	護憲運動や米騒動の経験がありました。	護憲運動や米騒動の経験がありました。 ▶P.227	変更が適切な体裁、記載(参照頁を追加するた め) /
362	232	ロシア革命の進展も、運動の広がりに影響をあたえていました。	ロシア革命の進展も、運動の広がりに影響をあたえていました。 ▶P.225	変更が適切な体裁、記載(参照頁を追加するた め) /
363	232	小作争議のようす(1925年 香川県) (東京都 法政大学_社会問題 研究所蔵)	小作争議のようす(1925年 香川県) (東京都 法政大学大原社会問 題研究所蔵)	誤記等 /
364	232	表④ 1921 日本労働総同盟の結成	1921 日本労働総同盟の成立	変更が適切な体裁、記載(P.232 図③の表記と統一 するため) /
365	233	側注③ 1920年には3万人、1930年には30万_に増加しました。	1920年には3万人、1930年には30万人に増加しました。	変更が適切な体裁、記載(1920 年の表記と統一 するため) /
366	234	図① ネーム ◆大正時代の名勝と交通をえがいた鳥瞰図(吉田初三郎 陸奥を中心とせる名勝交通鳥瞰図(京都府立京都市立歴史館 京 の風土ナーカイブ)	◆大正時代の名勝と交通をえがいた鳥瞰図(吉田初三郎 陸奥を中心とせる名勝交通鳥瞰図(京都府立京都市立歴史館 京 の風土ナーカイブ)	誤記等 /
367	235	7行目 が進みました。沿線には、劇場や遊園地なども建設されました。	が進みました。沿線には、劇場や遊園地なども建設されました。 [21B]	変更が適切な体裁、記載(より 適切な位置にす るため) /
368	236	10, 11行目 も現れました。1926年の円本、翌27年の文庫本の刊行をきっかけに、 富裕者の独占物だった文学書や学術書は大衆化していきました。	も現れました。1926年の円本、翌27年の文庫本の刊行をきっかけに、 富裕者の独占物だった文学書や学術書は大衆化していきました。 [22B]	変更が適切な体裁、記載(より 適切な位置にす るため) /

番号	訂正箇所 ページ	原文	訂正文	訂正理由
369	8行目	フランスとスペインでは、ファシズム反対派が選挙で勝利し、民主的な政府をつくりました。	削除	変更が適切な体裁、記載(振り仮名が本文2行目と重複しているため)
370	図⑧ ネーム	縮小する主要国の貿易 (1981年版「通商白書」)	削除	誤記等
371	深めよう	経済が落ちこむなか、中国で生じた統一の動きに対して、日本はどのようにに対応したでしょうか。	経済が落ちこむなか、中国で生じた統一の動きに対して、日本はどのようにに対応したでしょうか。	変更が適切な体裁、記載(P.222の年表のタイトルの表記と統一するため)
372	表②	日本が国際連盟を脱退する	日本が国際連盟 脱退を通告	変更が適切な体裁、記載(本文4行目の表記と統一するため)
373	図⑦			変更が適切な体裁、記載(本文4行目の表記と統一するため)
374				変更が適切な体裁、記載(箇所番号373の訂正に伴い、表記を統一するため)
375				変更が適切な体裁、記載(より適切な位置にするため)

